京都産業大学

2026年度

入学試験要項（特色入試）

総　合　型　選　抜　入　試

専門学科等対象公募推薦入試

社　会　人　入　試

帰　国　生　徒　入　試

外国人留学生入試［前期］［後期］

編　・　転　入　試

【注】１．上記以外の入試制度（公募推薦入試、一般選抜入試、共通テスト利用入試）に出願する場合は、「2026 年度入学試験要項」を確認してください。

２．不測の事態に伴い、各入学試験において、試験日、実施内容等に変更が生じる場合があります。その場合は、入試情報サイト等を通じて周知します。

目　　次

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

入学試験要項
1．総合型選抜入試 …… 1
2．専門学科等対象公募推薦入試 …… 34
3．社会人入試 …… 38
4．帰国生徒入試 …… 41
5．外国人留学生入試［前期］［後期］ …… 45
6．編・転入試 …… 51

出願方法 全制度共通
1．受験料（入学検定料） …… 57
2．出願方法 …… 57
3．インターネット出願の流れ …… 58
4．出願後の登録情報確認・変更 …… 61
5．よくある質問　Ｑ＆Ａ …… 62
6．障害等のある方への受験上の配慮 …… 63

受験票 全制度共通
1．受験票・受験番号の公開日 …… 64
2．受験票の内容確認および印刷方法について …… 64

受験 全制度共通
1．受験に関する注意 …… 65
2．感染症等にかかった場合の受験について …… 66
3．不測の事態への対応 …… 66

合格発表 全制度共通
1．合格発表 …… 67
2．高等学校への合否結果通知 …… 67

入学手続 全制度共通 …… 67

入学金・学費など
1．１年次入学 …… 68
2．編・転入学 …… 70
3．京都産業大学提携教育ローン …… 72
4．高等教育修学支援新制度について …… 72
5．寄付金のお願い …… 72

京都産業大学の個人情報の取り扱い …… 72

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

４年間の教育課程で全ての入学生が、本学の建学の精神に掲げる人材に成長できるように、学部・学科ごとに入学定員を定めて、次のような素養をもった学生を求めます。

１．入学までの学習を通して本学が定める学力を有していること
２．志望する学部の学問分野に関心を有していること
３．本学の建学の精神が示す人材に成長することを目指し、入学後にその実現に意欲を有していること

入学者選抜は、上記学生を念頭におきつつ、多様な方法を用いて実施します。これまでの学校教育課程で身に付けることが必要となる学力の３要素（(1) 知識･技能、(2) 思考力･判断力･表現力、(3) 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）と、各選抜方法（入試種別）において特に重視する観点及び評価方法との対応関係は、次のとおりです。

選抜方法（入試種別）	評価の際、特に重視する観点			評価方法
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度	
公募推薦入試	○			・基礎考査 ・書類審査 ・資格、高等学校在籍中の諸活動（文化活動、社会活動、生徒会活動、課外活動）（総合評価型のみ）
一般選抜入試	○			・各教科・科目に係るテストおよび大学入学共通テスト
共通テスト利用入試	○			・大学入学共通テスト
総合型選抜入試	○	○	○	・書類審査 ・面接 ・プレゼンテーション ・グループディスカッション　等
マネジメント力選抜入試	○	○	○	・筆記試験 ・書類審査 ・面接
次世代型リーダー選抜入試	○	○	○	・書類審査 ・講義/レポート ・グループワーク/レポート ・面接
探究・挑戦志向入試	○	○	○	・書類・動画審査 ・面接
専門学科等対象公募推薦入試	○	○		・資格 ・小論文 ・書類審査 ・面接
社会人入試	○	○		・小論文 ・書類審査 ・面接
帰国生徒入試	○	○		・各教科・科目に係るテスト ・小論文 ・面接
編・転入試	○	○		・各教科・科目に係るテスト ・小論文 ・書類審査 ・面接
外国人留学生入試	○	○		・各教科・科目に係るテスト ・書類審査 ・面接
スポーツ推薦入試	○	○	○	・スポーツ活動における優れた技量と実績 ・書類審査 ・小論文 ・面接
附属高等学校推薦入試	○	○		・書類審査 ・面接
指定校推薦入試	○	○		・書類審査 ・面接
経営学部高大連携校推薦入試	○	○		・書類審査 ・高大連携プログラムにおける評価 ・面接
編入学指定校推薦入試	○	○		・書類審査 ・面接
高大連携探究学習特別推薦入試	○	○		・書類審査 ・面接

各学部・学環のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

●経済学部

本学の「建学の精神」と経済学部の「教育研究上の目的」に賛同した入学希望者のうち、４年間の教育課程で全ての入学者が本学部のディプロマ・ポリシーに掲げる人材に成長できるよう、次のような素養を持った入学者を求めます。

1．経済学的思考方法を理解するために必要な基礎的学力を有していること
2．現在の経済社会が解決すべき諸課題に対する強い問題意識を有していること
3．経済学的知識・技能・思考力に基づいてより良い経済社会の実現に向けて努力するという信念の下、学修を深める意欲を有していること

入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。特徴的な入学者選抜として、総合型選抜入試を実施します。総合型選抜入試受験者については、入学後には教育課程外での活動に積極的に参加し、リーダーシップを発揮し、個々の能力を向上させることを目指すとともに経済学部教育の教育成果向上にも寄与する素養を持った入学者を求めます。このため、総合型選抜入試による入学者選抜においては、（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力だけでなく、（3）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を重視し、高いコミュニケーション能力と積極性を持った入学者を求めます。

●経営学部

本学部マネジメント学科は、４年間の教育課程で全ての入学者が、高い専門性と、諸領域を横断する知識や能力、視点、あるいは経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を結びつけ、イノベーションを通じて組織の発展・変革と社会の進化を促進する「統合的なマネジメント能力」を持った人材に成長できるように、次のような素養を持った学生を求めます。

1．入学までの学習を通して本学部が定める学力を有していること
2．本学部の学問分野、組織運営全般において必要とされるコミュニケーション能力、論理的思考、国際感覚、実務処理の知識及び専門知識等の素養を有していること
3．社会の変化と様々な組織内外の諸問題について強い関心を有していること

入学者選抜は、本学の学生受入れの方針（アドミッション・ポリシー）で定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。特徴的な入学者選抜として、マネジメント力選抜入試、経営学部高大連携校推薦入試を実施します。

・マネジメント力選抜入試においては、高校在学中に「マネジメント」に関連した経験や実績があり、経営学部で意欲的に学んで「統合的なマネジメント能力」を身につけ、その学びや進路が経営学部生の“ロールモデル”となりうる入学者を求めます。
・経営学部高大連携校推薦入試においては、入学後の学修に必要な基礎的学力、論理的に思考し判断するための基礎的能力及び他人と適切に対話し交流することができる高いコミュニケーション能力を有するとともに、本学部主催の高大連携プログラムに取り組み、大学において学ぶことの意義を深く理解した上で、京都産業大学経営学部への入学を強く希望する入学者を求めます。

●法学部

（法律学科）

法学部法律学科は、４年間の教育課程で全ての入学生がディプロマ・ポリシーに示した能力を身につけることができるように、人の権利を尊重し、公益のあるものを生み出すことができる潜在能力を持った学生を求めています。権利を尊重し、公益を実現するためには、社会を理解し主体的に行動する能力が必要です。法律学科の各種入試制度は、このような能力の基礎となる素養を様々な角度から確認するものです。入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり多様な方法を用いて実施します。

入学希望者には、各入試制度における科目等について基礎的な学力を有していることとともに、主体性を持って多様な人々と意見を交換し協働して学ぶ態度を求めます。これにより、本学科のカリキュラムでの学びに適応することができるでしょう。

また、入試科目には含まれない場合でも、日本語、外国語、歴史及び数学の学習、異文化理解ならびに新聞講読などについて、どれか一つでも心がけて欲しいと考えます。そのことにより、論理性、柔軟性、意思疎通能力、国際感覚、学際的思考能力又は社会に対する問題関心が涵養され、それらが法律学科で培う力の土台となるからです。

進路を見据えた明確な目標の有無は、学修意欲と成果に大きな影響を及ぼします。法律学科は、コースを設置して、以下のような目標を持つ方の入学を期待しています。

1．社会における法の働きを専門的にしっかりと理解して法的判断力を身につけ、会社員・法人職員、実業家や法律専門職などに就き、社会を法的に支えていきたい人。
2．地域社会の安全・安心を担うための法的知識と実践力を身につけ、警察官、消防士、家裁調査官、刑務官、法務教官など、社会の安全を実現する職業に就きたい人。
3．異なる国家・社会的立場・文化が関わる紛争を発見し、解決できる柔軟な思考力を身につけ、企業活動や公務などにおいて世界と社会の多様性に対応できる力を得たい人。

（法政策学科）

法学部法政策学科は、４年間の教育課程で全ての入学生がディプロマ・ポリシーに示した能力を身につけることができるように、人の権利を尊重し、公益のあるものを生み出すことができる潜在能力を持った学生を求めています。権利を尊重し、公益を実現するためには、社会を理解し主体的に行動する能力が必要です。法政策学科の各種入試制度は、このような能力の基礎となる素養を様々な角度から確認するものです。入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり多様な方法を用いて実施します。

入学希望者には、各入試制度における科目等について基礎的な学力を有していることとともに、主体性を持って多様な人々と意見を交換し協働して学ぶ態度を求めます。これにより、本学科のカリキュラムでの学びに適応することができるでしょう。

また、入試科目には含まれない場合でも、日本語、外国語、歴史及び数学の学習、異文化理解ならびに新聞講読などについて、どれか一つでも心がけて欲しいと考えます。そのことにより、論理性、柔軟性、意思疎通能力、国際感覚、学際的思考能力又は社会に対する問題関心が涵養され、それらが法政策学科で培う力の土台となるからです。

進路を見据えた明確な目標の有無は、学修意欲と成果に大きな影響を及ぼします。法政策学科では、行政にたずさわる公務員、議会の議員、ＮＰＯ職員・構成員など、公共的な政策を立案・実施して公益を実現する職業に従事するための素養を得たい方の入学を期待しています。

●現代社会学部

（現代社会学科）

現代社会学科の目的は、現代社会が内包する「地域」「人間」「メディア」にかかわる諸問題の解決に向けて，社会学の知見を活かし主体的に行動するだけでなく，他者と協働する社会に開かれた行動力を兼ね備え，多様な価値観を容認する社会の実現に寄与する人材の養成です。

本学科は、４年間の教育課程で全ての入学生がこのような人材に成長できるように入学定員を定めて、以下の素養を持った人材を求めています。

１．社会の多様な事象・問題に関心を持ち、それらの関係性及び解決策について考えようとする意欲を持っている人。
２．自己の価値観や立場を絶対化せず、多様な属性や価値観を持つ人々を理解し受け入れながら自らのリーダーシップを発揮できる人。
３．高い学習意欲を持ち、将来にわたり多様な価値観を容認する社会の発展に貢献しようとする意志を持つ人。

(健康スポーツ社会学科)
健康スポーツ社会学科の目的は、現代社会が内包する「健康スポーツ」にかかわる諸問題の解決に向けて、社会学と健康スポーツ科学の知見を活かし主体的に行動するだけでなく、他者と協働する社会に開かれた行動力を兼ね備え、心身ともに健康な社会の実現に寄与する人材の養成です。本学科では、４年間の教育課程で全ての入学生がこのような人材に成長できるように入学定員を定めて、以下の素養を持った人材を求めています。

１．社会の多様な事象・問題に関心を持ち、それらの関係性及び解決策について考えようとする意欲を持っている人。
２．自己の価値観や立場を絶対化せず、多様な属性や価値観を持つ人々を理解し受け入れながら自らのリーダーシップを発揮できる人。
３．高い学習意欲を持ち、将来にわたり心身ともに健康な社会の発展に貢献しようとする意志を持つ人。

●国際関係学部
国際関係学部は、「新たな国際情勢に関し、適切に収集した情報を基に、国際関係分野の専門的知見に基づいて正確に状況を把握し、理論的な分析を行った上、課題を発見すると共に、多様性を持った他者と協働して解決策を提示し、国際社会の発展と平和に寄与できる人材」の養成を目的としています。４年間の教育課程で全ての学生がこのような人材に成長できるように、入学定員を定めて、以下の素養を持った人材を求めています。

１．現代の国際社会で起きている様々な事象や国際関係の歴史・理論に関心を持っている。
２．国際関係学部で学修したことを活かして、将来国際社会の発展と平和のために活躍・貢献したいという意欲を持っている。
３．語学の運用能力を身につけると共に世界の多様性を理解し、異文化コミュニケーションを実践しようとする意欲を持っている。
４．国際関係及び語学の学修に必要な、知的好奇心、継続的学習習慣及び基礎的学力を持っている。

入学者の受け入れは、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定められた素養を持った人材を選抜するため、多様な方法を用いて実施します。

●外国語学部
英語学科、ヨーロッパ言語学科およびアジア言語学科は、多様な言語とその関連領域に関わる教育を行うことにより、京都産業大学の建学の精神に適う人材を育成することをその教育の目的としています。とりわけ、言語についての体系的理解を基礎とした実践的な言語運用能力を習得し異文化理解および国際社会の今日的課題に対する理解を深めることにより、日本国内に限らず国際社会においても信頼され活躍できる人材を育成しようとしています。英語学科、ヨーロッパ言語学科およびアジア言語学科への全ての入学生が、４年間の学部教育の中でこのような人材に確実に成長できるように以下の素養を持った学生の入学を求めています。

１．専攻語が話される国・地域の言語・文化・社会に関心を持っている。
２．外国語の運用能力を身につけ異文化コミュニケーションを実践しようとする意欲を持っている。
３．世界の情勢に広く関心を持ち、国際社会で活躍・貢献しようとする意欲を持っている。
４．外国語の学習に必要な継続的学習習慣と基礎的学力を持っている。

入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。

●文化学部
（文化構想学科）
本学科が養成する人材像に照らして、「世界の多様性を理解し、様々な背景や立場の人々と文化に関わる諸課題を共有し、文化的な社会の発展に貢献する姿勢を持つ人材」を受け入れる。本学科では、以下の６つの資質・能力・志向性を備える人材を求める。

１．知識・技能
①古今東西の文化を理解するための基礎的知識・技能
２．思考力・判断力・表現力
②文化の多様性について考える思考力
③文化に関する課題を取り上げる判断力
④文化の価値を伝える表現力
３．主体的な態度
⑤現代社会における文化の価値を探究するための主体性
⑥異文化を理解するための寛容性

（京都文化学科）
本学科が養成する人材像に照らして、「世界の多様性を理解し、様々な背景や立場の人々と文化に関わる諸課題を共有し、文化的な社会の発展に貢献する姿勢を持つ人材」を受け入れる。本学科では、以下の6つの資質・能力・志向性を備える人材を求める。

１．知識・技能
①京都文化・日本文化を理解するための基礎的知識・技能
２．思考力・判断力・表現力
②文化や社会の多様性について考える思考力
③文化や地域に関する課題を見定める判断力
④京都文化・日本文化の価値を伝える表現力
３．主体性・寛容性
⑤地域社会の発展のために行動する主体性
⑥多様な文化を理解するための寛容性

（文化観光学科）
本学科が養成する人材像に照らして、「世界の多様性を理解し、様々な背景や立場の人々と文化観光に関わる諸課題を共有し、社会の発展に貢献する姿勢を持つ人材」を受け入れる。本学科では、以下の６つの資質・能力・志向性を備える人材を求める。

１．知識・技能
①文化観光を理解するための基礎的知識・技能
２．思考力・判断力・表現力
②文化観光について考える思考力
③文化観光に関わる課題を取り上げる判断力
④地域の魅力を伝える表現力
３．主体的な態度
⑤地域社会の発展のために行動する主体性
⑥観光と地域社会の持続的発展に貢献する意欲

●理学部
(数理科学科)
京都産業大学のアドミッション・ポリシーを受け、４年間の教育の結

果、入学生が本学の建学の精神に掲げる人材に成長できるように、次のような素養を持った学生を求めます。

1．入学までの学習を通して、大学での学びに必要な数学に関する学力を有していること
2．数学およびそれが応用される学問分野に関心を有していること
3．ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に掲げる素養を有する人材に成長することを目指し、入学後にその実現に意欲を有していること

入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。特徴的な入学者選抜として、入学前に数理科学分野の優れた自由研究等に取り組んだ実績を持つ者に対し、その成果の提出と口頭発表等の成績をもとにした総合型選抜入試を実施します。

(物理科学科)
京都産業大学のアドミッション・ポリシーを受け、４年間の教育の結果、入学生が本学の建学の精神に掲げる人材に成長できるように、次のような素養を持った学生を求めます。

1．入学までの学習を通じて、大学での学びに必要な数学や物理学に関する学力を有していること
2．自然科学に好奇心を持ち、理論的・実験的に考察して真理の探求に興味を持っていること
3．物理学の素養を背景にして実社会に幅広く貢献したい人、または物理科学科で学ぶはっきりとした目的を持っていること
4．ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に掲げる素養を有する人材に成長することを目指し、入学後にその実現に意欲を有していること

入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。特徴的な入学者選抜として、入学前に物理科学分野に興味を持ち、探究心を持って勉学や活動をしてきた者に対し、書類審査と試験、面接等の成績をもとにした総合型選抜入試を実施します。

(宇宙物理・気象学科)
京都産業大学のアドミッション・ポリシーを受け、４年間の教育の結果、入学生が本学の建学の精神に掲げる人材に成長できるように、次のような素養を持った学生を求めます。

1．入学までの学習を通じて、大学での学びに必要な数学や物理学に関する学力を有していること
2．宇宙物理学や気象学などの学問分野に関心を有していること
3．ディプロマ・ポリシーに掲げる素養を有する人材に成長することを目指し、入学後にその実現に意欲を有していること

入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。特徴的な入学者選抜として、入学前に取り組んだ宇宙物理学あるいは気象学に関連する課題研究等の成果の提出と口頭発表等の成績をもとにした総合型選抜入試を実施します。

●情報理工学部
４年間の教育課程で全ての入学生が、情報理工学の高度な知識･スキル･応用力と情報に関わる高い倫理観を有し、これらを活かして進展著しい情報化社会の最先端領域に立ち、新しい社会の創造に積極的に携わる人材として成長できるように、次のような素養を持った学生を求めます。

1．情報理工学及びその関連分野に強い関心を持ち、粘り強く学習・思考を持続することができる者
2．コンピュータやネットワークなどの利用・応用や人間との関わりに興味を持っている者
3．コンピュータの利用について基礎的な能力を備えている者
4．プログラム作成等の経験を既にある程度積んでいる者

入学者選抜は、京都産業大学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。特徴的な入学者選抜として、総合型選抜入試を実施します。

総合型選抜入試は、本学のアドミッション・ポリシーに沿って、情報関連技術と技能に対する実力及び実績を確認すること、及び情報に関連する知識・思考能力を確認することを目的に実施します。

●生命科学部
生命科学部では、本学部のカリキュラム・ポリシーに基づく４年間の教育を通じ、全ての学生がディプロマ・ポリシーに掲げた素養を備えた人材に養成することを目指すため、生命科学の学修に必要な基礎学力に加えて以下のような素養をもった入学生を求めます。

(先端生命科学科)
1．生命科学に関わる事象や諸問題に強い興味と関心をもち、それらの本質や解決策について考える意欲をもつ者
2．生命科学に関わる最先端の実験技術や研究方法の修得に関心をもつ者
3．高い学習意欲をもち、生命科学の知識を、将来にわたり健全で豊かな社会の構築に活かそうとする意志をもつ者
4．多様な価値観を許容する広い視野をもち、国内外を問わず人々との交流を積極的に行おうとする者

入学者選抜は、本学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。本学部の特徴的な入学者選抜として、２つのタイプの総合型選抜入試（<課題提出型>、<学科試験型>）を実施し、従来の筆記試験では見出し得ない能力をもった学生の募集を行います。

(産業生命科学科)
1．生命科学に関わる事象や諸問題に強い興味と関心をもち、それらの本質や解決策について考える意欲をもつ者
2．生命科学に関わる社会問題とその解決方法に関心をもつ者
3．高い学習意欲をもち、生命科学および人文科学、社会科学の知識を、将来にわたり健全で豊かな社会の構築に活かそうとする意志をもつ者
4．多様な価値観を許容する広い視野をもち、国内外を問わず人々との交流を積極的に行おうとする者

入学者選抜は、本学のアドミッション・ポリシーで定めたとおり、多様な方法を用いて実施します。本学部の特徴的な入学者選抜として、２つのタイプの総合型選抜入試（<課題提出型>、<学科試験型>）を実施し、従来の筆記試験では見出し得ない能力をもった学生の募集を行います。また本学科では、理系型入試に加え文系型入試を実施し、文章読解力や表現力に秀でており、さらに社会科学に関心をもつ学生を募集します。

●アントレプレナーシップ学環
アントレプレナーシップ学環が掲げる「養成する人材像」に４年間の教育課程を通じてなり得る者として、以下に記す資質・能力を備える「社会の発展のために自らの解を探究し、事業を起こすこと、あるいは事業を革新していくことに強い関心を有し、そ

の実現に向けて、他者の協力を得ながら挑戦する姿勢を持つ人」を求めます。

1．知識・技能
社会の変化や課題に広く関心を持ち、理解するための基礎的知識・技能
2．思考力・判断力・表現力
論理的に情報を整理し、自らの考えをまとめる思考力
自らを客観視して、改善・深化すべき点を見定める判断力
他者に向けて自分の考えや計画を伝える表現力
3．主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度
他者の協力を得ながら、自ら行動する主体性
困難や失敗に際しても、挑戦する姿勢
4．未来志向
より良い社会を実現することへの関心
事業を起こすことや、事業を継承・発展させていくことへの関心
自分自身の将来像を描く力

入学者選抜は、本学環での学修に意欲を持つ入学志願者に対して多様な受験機会を提供するために、京都産業大学のアドミッション・ポリシーを踏まえて、総合型選抜「探究・挑戦志向入試」及び一般選抜、学校推薦型選抜を実施します。

参考
・編・転入試を出願する方は、次の Web サイトで確認してください。
・ディプロマ･ポリシー（卒業認定･学位授与の方針）およびカリキュラム･ポリシー（教育課程編成･実施の方針）については、次の Web サイトに掲載しています。
URL https://www.kyoto-su.ac.jp/about/info/3policy.html

各入学試験の要項

1．総合型選抜入試

ⒶⒶ 入試日程等

試験会場　京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

	1次選考	2次選考
出願期間	2025年9月1日（月）10:00 ～9月8日（月）23:00	2025年9月26日（金） ～10月2日（木）
選考日	2025年9月21日（日） （書類選考を除く）	2025年10月19日（日）
合格発表日	2025年9月26日（金）	2025年11月1日（土）

【注】1. １次選考の出願は、インターネット出願です。期間内にインターネット出願画面で出願内容の入力・確認および写真データのアップロード、受験料（入学検定料）の納入、出願書類の郵送を完了してください。出願書類は、締切日消印有効（海外からの場合は締切日必着）。
2. ２次選考の出願は、受験料（入学検定料）の納入のみです。期間内に納入してください。
3. 選考日の集合時間、場所などは、受験票に記載して通知します。
4. 不測の事態への対応については、P.66を確認してください。

ⒷⒷ 募集人員

学部	学科	募集人員
経済学部	経済学科	約20名
経営学部	マネジメント学科	約25名
法学部	法律学科	約10名
	法政策学科	約5名
現代社会学部	現代社会学科	約30名
	健康スポーツ社会学科	約15名
国際関係学部	国際関係学科	約10名
文化学部	文化構想学科	約15名
	京都文化学科	約10名
	文化観光学科	約10名
理学部	数理科学科	約2名
	物理科学科	約2名
	宇宙物理・気象学科	約2名
情報理工学部	情報理工学科	約6名
生命科学部	先端生命科学科	両学科あわせて約10名
	産業生命科学科	

学部等	学科（専攻）		募集人員
外国語学部	英語学科※	（英語専攻）（イングリッシュ・キャリア専攻）	全学科・専攻あわせて約18名
	ヨーロッパ言語学科	（ドイツ語専攻）	
		（フランス語専攻）	
		（スペイン語専攻）	
		（イタリア語専攻）	
		（ロシア語専攻）	
		（メディア・コミュニケーション専攻）	
	アジア言語学科	（中国語専攻）	
		（韓国語専攻）	
		（インドネシア語専攻）	
		（日本語・コミュニケーション専攻）	
アントレプレナーシップ学環			約10名

【注】出願は、１つの学部、学科（専攻）・学環に限ります。
※　外国語学部英語学科は学科で一括募集しますので、出願時に専攻は選択できません。専攻の分属については、本人の希望、履修状況などを加味して、１年次春学期末に決定し、１年次秋学期からそれぞれの専攻で学修していきます。

ⒸC　出願資格

京都産業大学の志望学部等で学びたいという強い意志と能力を備えている者で、次のいずれかに該当する者

⑴　高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年３月31日までに卒業見込みの者

⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者

⑶　学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年３月31日までにこれに該当する見込みの者

①　外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者

③　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者

④　文部科学大臣の指定した者

⑤　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）および2026年３月31日までに合格見込みの者

⑥　他の大学に入学した者であって、当該者を本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

⑦　個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で2026年３月31日までに18歳に達する者

【注】１．上記⑶の⑦に該当する場合において、次の６校については、あらかじめ出願資格を認定していますので、個別の入学資格審査の手続は不要です。

【朝鮮高級学校６校】　愛知朝鮮中高級学校　京都朝鮮中高級学校
大阪朝鮮中高級学校　神戸朝鮮高級学校
広島朝鮮初中高級学校　九州朝鮮初中高級学校

２．上記⑶の⑦に該当する場合において、前項以外の学校から出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の申請が必要です。本学入試情報サイトで申請期間、申請方法などを確認し、出願開始日の2週間前までに手続を行ってください。

URL https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/nagare/judge/

ⒹD　特に定める出願要件

経営学部、現代社会学部、外国語学部、文化学部、理学部（数理科学科、宇宙物理・気象学科）、情報理工学部、生命科学部については、ⒸC出願資格の⑴～⑶のいずれかに加えて、各学部・学科で特に定めている出願要件（P.4、6、7、12、18、20、22、23、25）を満たさなければなりません。

⑻　各学部・学科・専攻・学環が定める事項
（学部・学科・専攻・学環が求める具体的な学生像、特に定めている出願要件、出願書類、選考方法）

経済学部

求める具体的な学生像	世界と日本の経済社会の変化は目まぐるしく、さまざまな面で高い能力を持つ人材が必要とされています。経済学部では、健全な人格を持ち、将来、各方面で活躍するために必要な経済学的思考方法、情報処理能力、及び幅広い教養を基盤に、常にグローバルな視野に立ち、かつ的確な総合的判断のできる“優れた経済人”を養成することを目的とします。 そのために、次の⑴～⑷のいずれかに該当する人の入学を望みます。 ⑴　経済社会に対して問題意識を持っている人 ⑵　演習などさまざまな面においてリーダーシップを発揮できる人 ⑶　基礎的な表現力を持ち、状況判断能力や行動力に優れている人 ⑷　将来の方向性を持ち、世界的な視野を身に付けることに意欲を持っている人
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 「なぜ京都産業大学経済学部を志望するのか」その理由・動機について簡潔に記述してください。（400字以内） **・自己アピール書**〔本学所定様式〕 高校時代に勉強やクラブ活動、ボランティア活動や地域活動などに積極的に取り組み、それらの活動の中で問題意識を持ち、大学で主体的に学ぼうとする学生を求めています。「自己アピール書」では、皆さんの充実した高校生活や、学校外での豊かな経験の中から、最も印象深かった出来事を記述してください。（400字以内）
選考方法	**１次選考**･･･**One Dayセミナー** 経済学部の教員による約50分間の模擬講義（セミナー）を実施。その後、講義内容の理解度を試すため、記述式テスト（60分）を行います。 One Dayセミナーでの記述式テストおよび出願書類との総合判定により、１次選考の合否を決定します。 **２次選考**･･･**プレゼンテーション（約15分）** 自分が関心を持った社会問題（経済問題でなくても可）について自由にテーマを設定し、５分程度で発表した後、10分程度の質疑応答を行います。発表形式は、ポスターの利用、黒板またはホワイトボードへの板書、資料の提示（資料配付、紙芝居形式など）から選択してもらいます（パソコン等の機器を使用しての発表は不可）。プレゼンテーションでは、報道や書物からの情報をそのまま発表するのではなく、独自の視点で説明することを求めます。詳細については、１次選考合格者へ通知します。 １次選考結果との総合判定により最終合否を決定します。

経営学部 〈マネジメント力選抜入試〉

経営学部マネジメント学科では、「高い専門性と、諸領域を横断する知識や能力、視点、あるいは経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を結びつけ、イノベーションを通じて組織の発展・変革と社会の進化を促進する『統合的なマネジメント能力』を持った人材の養成」を教育の目的とします。

求める具体的な学生像	この入試では、入学前にマネジメントに関する経験や実績を有し、思考力と文章および口頭の表現力を備え、次のような目標や志を持った人材を求めています。 ⑴ 社会に役立つビジネスや仕事を生み出すことに意欲のある者 ⑵ 留学や海外旅行に興味があって、世界のことを知り、世界中の人と知り合って、様々な活動に取り組む意欲のある者 ⑶ 多様な人たちの新しいはたらき方に高い関心を持つ者 ⑷ 起業したい、新しいビジネスを始めたい、個性の異なる人たちが活躍できる場をつくることに意欲のある者 ⑸ AI（人工知能）や人生100年時代など、未来の諸問題に取り組みたい者 ⑹ 高齢者と若者がともに活躍できる舞台を提案したい者 ⑺ 社会福祉や公共の利益に役立つビジネス、介護や育児と仕事を両立できるような仕組みに関心を持つ者 ⑻ その他、日本や世界が抱えている様々な課題に対して、マネジメントの視点からその問題を理解し、問題解決に高い関心と意欲のある者 これらを実現するために、経営学部で意欲的に学んで統合的なマネジメント能力を身につけ、その学びや進路が経営学部生の“ロールモデル”となりうる人材を求めています。
特に定めている出願要件	高校在学中に、「マネジメント」に関連した経験（文化・芸術・スポーツ活動・生徒会活動・コンテスト出場・海外留学・ボランティア活動等）があり、その成果をどのように経営学部での学習に生かし、将来の進路に結び付けていきたいかを「志望理由書」に書き、「面接」で伝えることができる者
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 「特に定めている出願要件」について記述してください。(1,200字程度) **・自らの成果や実績を証明できる添付資料**〔本学所定様式〕 任意提出とします。 経験や実績を証明する資料（コピー）を提出する場合は、「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出してください（USBメモリー、CD、DVDの提出不可）。これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部・学科を記入してください。
選考方法	**１次選考・・・筆記試験（60分）** 論述問題：社会的な問題について、テーマおよび参考資料（図表含む）に基づいて自身の考えを述べる論述問題を実施します。着眼点のよさや想像力および論理的思考力を見極めます。 テーマ例　女性の年齢階級別労働力率の変化、人工知能（AI）の普及と生活の変化、コロナ禍が男女の雇用状況に与えた影響など 筆記試験および出願書類との総合判定により、１次選考の合否を決定します。 **２次選考・・・個人面接（約15分）** 面接は志望理由書に書かれたこと等を参考に、志願者の勉学への意欲や姿勢、実現力（問題意識、提案力など）を判定します。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

法 学 部

求める具体的な学生像	現代世界では、すべてが流動化し、価値観が多様化しています。このような現代世界において、法学部の目的は、説得力のある論理を構成し、ルールに基づく組織を構築し、それによって、人間相互の円滑な交流と公正な共存を促していくために、法の知識と実践的な平衡感覚に基づいて公益あるものを生み出していく人材を育成することです。そのために、各学科が求める次の⑴～⑷のすべてに該当する人の入学を望みます。 **〈法律学科〉** ⑴　社会に対する問題意識の高い人 ⑵　平衡感覚と柔軟な思考力を有している人 ⑶　日本語能力に優れ、他者理解と自己表現に秀でている人 ⑷　論理的に物事を把握し、説明する能力の高い人 **〈法政策学科〉** ⑴　社会に対する問題意識の高い人 ⑵　平衡感覚と柔軟な思考力を有している人 ⑶　日本語能力に優れ、他者理解と自己表現に秀でている人 ⑷　現実の諸問題を調査する意欲を持ち、立案能力の高い人
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 法学部の各学科を志望する理由を1,600字以上～2,000字程度までで記述してください。その際、法学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）やカリキュラムの内容を参照してください。単に、これまでの経験や経歴を述べるのでなく、それらからどのような関心を持つに至ったか、またその関心を法学部の各学科においてどのような学びに活かすことができるのかについて記載してください。 志望理由書をもとに、法学部各学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に適しているか、また社会問題への関心の高さや理解度、日本語表現能力・論理的思考力の高さを評価します。
選考方法	**１次選考**…**小論文（90分）** 読む能力と書く能力を試すために、小論文試験（90分）を実施します。 小論文および出願書類との総合判定により、１次選考の合否を決定します。 **２次選考**…**プレゼンテーション（約５分）＋質疑応答（約15分）** テーマとなる社会問題を自分で一つ設定し、その現状・課題・改善策について５分程度のプレゼンテーションを行ってもらいます。発表形式は、ポスターの利用、黒板またはホワイトボードへの板書、資料の配付などから選択してもらいます（パソコンを使用しての発表は不可）。その後、プレゼンテーションに関する15分程度の質疑応答を行います。法律学科は、論理的に物事を把握し、説明することができているか、法政策学科は、現実の諸問題を調査する意欲を持って、具体的な政策立案ができているか、などが評価対象となります。 プレゼンテーションでは、書籍や新聞記事などの信頼できる資料に基づき、十分な調査を行ったうえで、自分とは異なる意見をもつ人に対しても説得的となるように自分の意見を述べているものを評価します。情報収集をする際にインターネットは有用なツールですが、常に情報が確かであるかを確認してください。プレゼンテーションを作成するにあたって参考にした書籍、新聞記事、Webサイト等の一覧表を作成し、プレゼンテーション時に提出してください（書式は任意）。詳細については、１次選考合格者へ通知します。 １次選考結果との総合判定により最終合否を決定します。

現代社会学部 〈次世代型リーダー選抜入試〉

現代社会学部では、他者と積極的に協働しながら、現代社会における複雑、多様な課題を解決し、人々の幸福に寄与する次世代型リーダーの育成を教育目標に掲げています。

このような次世代型リーダーには、基礎学力のみならず、探求力、対話力、調整力など、様々な経験を通して身につけられた実践的な能力や資質が求められます。また、自分自身の個性や才能を知り、それらを最大限に発揮し、生かしながら、様々なことに挑戦していく意欲が求められます。

そこで、現代社会学部は、次世代型リーダーとしての活躍が期待できる多様な人材を選抜する目的で、基礎学力に加え、「経験を通して身につけた実践的な能力や資質」あるいは「個性・才能を生かして獲得した優れた成果や業績」を積極的に評価する本入試を実施します。

求める具体的な学生像	本入試では、基礎学力に加え、次世代型リーダーとして、他者と積極的に協働しながら社会の課題解決に対し挑戦する意欲を持っている者を求めます。 その上で次のいずれかに該当する者の入学を求めます。 ⑴ 学内外の活動において、リーダーシップを発揮した経験を持ち、入学後にその経験を生かし、リーダーシップを発揮する意欲のある者。また、現代社会学部の実施する正課内外での様々な活動に積極的に取り組む意欲のある者（活動例は、Webサイトや大学案内などで確認すること）。 ⑵ スポーツ、パラスポーツ、文化芸術、その他の活動で優れた成果や実績を持ち、入学後にその経験を生かし、リーダーシップを発揮する意欲のある者、または、主務、マネージャー、学生コーチやアナリスト、組織・団体のサポート・マネジメント（審判員や競技役員）等、いわゆる組織の代表者としてではなくとも、優れた活動成果を得るために積極的に課題発見や解決に向けた経験を持ち（ただし、個別のアスリート専属のサポート経験は除く）、入学後にその経験を生かし、リーダーシップを発揮する意欲のある者で、現代社会学部の実施する正課内外での様々な活動に積極的に取り組む意欲のある者（活動例はWebサイトや大学案内などで確認すること）。
特に定めている出願要件	次世代型リーダーとしての活躍が期待できる多様な人材を選抜するために、本入試にはＡタイプ、Ｂタイプの２つの選抜方法があります。Ａタイプは、「実践力のあるリーダー」を選抜するタイプで、経験を通して身につけた実践的な能力や資質を評価します。Ｂタイプは「個性を生かすリーダー」を選抜するタイプで、個性・才能を生かして獲得した優れた成果や業績、またはその業績を得るために発揮した優れたサポート・マネジメント能力に関する資質を評価します。 出願する際には、いずれかのタイプを選択してください。Ａタイプ、Ｂタイプで出願書類が異なりますので、理解したうえで、自分に合ったタイプを選択してください。 **〈Aタイプ〉実践力のあるリーダー選抜タイプ** 学内外の様々な活動において、リーダーシップを発揮した経験を持つ者 〔例〕・高等学校等に在籍中に地域、社会貢献、ボランティア、国際交流、その他の活動においてリーダーシップを発揮した経験を持つ者 ・高等学校等において生徒会役員、文化祭の実行委員長、部活動の主将・副主将・主務などを担った経験を持つなど、組織運営においてリーダーシップを発揮した経験を持つ者 **〈Bタイプ〉個性を生かすリーダー（プレイヤー型）または組織マネジメント能力に優れたリーダー（サポート・マネジメント型）選抜タイプ** 高等学校等に在籍中に、学校内外を問わず、スポーツ、パラスポーツ、文化芸術、その他の活動分野において優れた成果や実績を収めた者（プレイヤー型）または所属する団体・組織の一員として高い目標を達成するためのサポート・マネジメントにおいて大きな貢献をした者（サポート・マネジメント型）で、次の（ア）（イ）のすべてを満たす者

（現代社会学部　つづき）

特に定めている出願要件	㈠　出身高等学校等の全体の学習成績の状況が3.5以上の者（卒業見込みの者は第１学年から第３学年１学期終了時まで（２学期制の場合は、第３学年における直近）を総合して判定した成績について全体の学習成績の状況が3.5以上の者） ただし、出願資格⑴（P. 2）に該当しない者は、事前に受験資格を確認するため、2025年7月25日（金）までに、入学センターへ問い合わせてください。 ㈡　以下のような実績に該当する客観的な証明資料（出願者の氏名が確認できる資料）を提出できる者。ただし、プレイヤー型として出願する場合は、出願者の氏名が確認できる資料が必要となります。サポート･マネジメント型として出願する場合は、所属団体・組織の実績がわかる資料で構いません。 【スポーツ、パラスポーツ】 スポーツ、パラスポーツの活動分野において次のいずれかを満たす者 ①全国大会（全日本、全日本ジュニア、国民スポーツ大会（国民体育大会）、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会など）に出場した者 ②ブロック大会（近畿大会など）に出場し、ベスト８以上の成績を収めた者 ③国民スポーツ大会（国民体育大会）出場のために都道府県選抜チームに選ばれ、国民スポーツ大会（国民体育大会）ブロック大会へ出場した者 ④競技団体主催の優秀選手等や全国選抜合宿等に選出された者 ⑤上記①～④と同等またはそれ以上の実力を持つ者でそれを客観的に証明できる資料を提出できる者 【文化芸術、その他】 文化芸術、その他の活動分野において次のいずれかを満たす者 なお、その他の活動には、科学、情報、ビジネス等が該当します。 ①国際レベルの大会、コンクール、コンテスト、コンペティションなどに出場した者 ②全国高等学校総合文化祭、全国青年弁論大会、全国高校放送コンテスト、全国高校新聞コンクール、全国高校生映画コンクールなど国内レベルでの大会、コンクール、コンテスト、コンペティションに出場した者 ③行政や民間団体などの機関から、社会的に優れていると高い評価を得た者（芸術展での受賞や文学賞など） ④上記①～③と同等またはそれ以上の実力を持つ者でそれを客観的に証明できる資料を提出できる者

（現代社会学部　つづき）

出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 記述内容は、特に定めている出願要件のＡタイプ、Ｂタイプで共通です。 現代社会学部のアドミッション・ポリシーを理解したうえで、次の３点を具体的に記述してください。（800 ～ 1,200 字以内） ㈠　出願する学科を志望する理由 ㈡　入学後、他者と協働して課題を解決する次世代型リーダーとしてどのような活動や学びをしたいか ㈢　大学卒業後の夢や将来の展望 **・自己アピール書**〔本学所定様式〕 特に定めている出願要件のＡタイプ、Ｂタイプによって記述内容が異なります。次の点をそれぞれ具体的に記述してください。 **〈Ａタイプ〉** これまでのリーダーシップを発揮した活動を具体的に説明するとともにそこで自分はどのようなことを学んだのかを述べてください。（800 ～ 1,200字以内） **〈Ｂタイプ〉** 今まで成し遂げた自分の活動実績や成果を具体的に説明するとともに、それを成し遂げるために、どのような努力や工夫を重ねてきたのか、どのような困難を克服したのかなど、そこに至る過程を述べてください。（特に、団体での活動の実績や成果については、自分の貢献部分を明確に述べてください。）（800 ～ 1,200 字以内） **・活動実績報告書**〔本学所定様式〕＜Ｂタイプのみ＞ 「活動実績報告書の記入上の注意」（P. 9）を読んだうえで、活動実績を記載してください。 ※ 高等学校在籍中の活動実績を記載してください。 **・証明資料貼付用紙**〔本学所定様式〕＜Ｂタイプのみ＞ 「証明資料貼付用紙の記入と作成上の注意」（P. 9 ～ 10）を読んだうえで、必要事項を記入し、自らの活動実績や成果を客観的に示す証明資料を貼付してください。証明資料が貼付されていない場合には、受験資格を有しないと判断することがありますので注意してください。
活動実績報告書の記入上の注意〈Bタイプのみ〉	【出願学科】欄 ・自分の志望する学科にレ点を記入してください。 【活動分野】欄 ・いずれかを選択し、レ点を記入してください。 ・いずれにも該当しないと考えられる場合、あるいは活動分野がわからない場合、その他を選択してください。 【活動種目・活動領域】欄 ・高等学校等の在籍時において優秀な実績を出した活動種目・活動領域を具体的に記入してください。 〔例〕ラグビー、剣道、書道、吹奏楽、放送、写真など 【ポジション・専門種目・部門等】欄 ・スポーツ、パラスポーツの場合、例えば、野球の「投手」、バレーボールの「セッター」、サッカーの「ゴールキーパー」、陸上競技の「走り幅跳び」、バスケットボールの「主務」、ハンドボールの「審判」などを記入してください。 ・文化芸術、その他の活動の場合、例えば、吹奏楽の「クラリネット」、美術の「洋画」「現代アート」、書道の「マネジメント部門長」のように自分の専門や活動の中心となった部門を記入してください。記入しにくい場合は 空欄にしてください。

（現代社会学部　つづき）

活動実績報告書の記入上の注意〈Bタイプのみ〉	【所有段位・資格等】欄 ・活動の能力や資格がわかるものがあれば記入してください。なければ「なし」と記入してください。 〔例〕２段、フォトマスター検定１級、日本サッカー協会公認２級審判員など 【競技・活動実績】欄 ・全国大会（国際大会を含む）、ブロック大会（近畿大会など）など、出願資格を満たしている大会を１つ選択し、記入してください。 ・「出場した大会・コンクール等の名称」欄には、省略せずに正式名称を記入してください。 ・「西暦年・月・日」欄には、その大会やコンクールなどが開催された年月日を正確に記入してください。 ・「出場種目／部門」欄には、例えば、陸上競技では「100M走」「400Mハードル」、放送なら「アナウンス部門」などを記入してください。 ・「区分」欄には、個人での活動実績の場合は「個人」と、団体の活動実績の場合は「団体」と記入してください。 ・「参加校数または参加人数」欄には、団体の場合は当該大会に参加した学校数、個人の場合は参加人数がわかるように記入してください。 学校数、参加人数ともにわかる場合は、両方を記入してください。 ・「順位／受賞名」欄には、当該大会での成績、例えば「優勝」「ベスト４」「最優秀賞」「金賞」などを記入してください。 ・「記録」欄には、当該大会で得た成績に関する記録（例えば、陸上競技800M走「○分○○秒○○」など）を記入してください。なければ「なし」と記入してください。
証明資料貼付用紙の記入と作成上の注意〈Bタイプのみ〉	**【証明資料貼付用紙表面の記入・作成について】** ・大会・活動名は活動実績報告書に記入したものと同一のものを記入してください。 ・大会・活動の概要には、その大会に至るまでに必要となる試合数や出場校数、参加対象者の条件など、その大会や活動の規模やレベルがわかるような内容を記入してください。 ・特記事項には、当該の大会・活動で、出願者本人が特にアピールしたいことなどを記入してください。 **【証明資料貼付用紙裏面の作成について】** ・証明資料は、必ずコピーを貼付してください（提出された証明資料は、返却しません）。 ・証明資料がA4サイズを超える場合、そのコピーが貼付用紙からはみ出ないように折りたたむか、A4サイズ以内に縮小コピーをしてください（ただし、判読が可能であること）。 なお、同じ大会・活動の実績に関して証明資料が複数ある場合は、貼付用紙１枚に収まるよう、重ね合わせるなどしてコピーした資料を貼付してください。 ・貼付する証明資料のコピーの余白または裏面に氏名を記入してください。 ・証明資料のコピーにおいて、証明となる重要箇所（団体名、個人名など）には赤線またはマーカーで印をしてください。特にプレイヤー型において、団体での実績の場合には、出願者本人が出場メンバーであることがわかる箇所を明示してください。

（現代社会学部　つづき）

証明資料貼付用紙の記入と作成上の注意 〈Bタイプのみ〉	**【注意事項について】** （プレイヤー型） ⑴　活動実績報告書に記入した大会・活動のうち、優れた実績のものを１つ選択し、その実績を示す客観的な証明資料を紙媒体で貼付用紙にて提出してください（証明資料は１つでも可）。 ⑵　貼付する客観的な証明資料の例は、以下のとおりです。 ・個人名の記載された賞状 ・新聞・雑誌等（新聞・雑誌名と日付を記入してください） ・大会プログラム（表紙および個人名が記載されたページを貼付してください） ・大会記録報告書・公式記録 ・大会主催者によるWebページを印刷したもの ・公式スコア（トーナメント表や最終結果がわかるもの） なお、団体での活動実績によって出願する場合は、出願の根拠となる試合・活動において、出願者本人が出場していることがわかる証明資料を提出してください。補足説明が必要な場合は、特記事項欄に記入してください。
選考方法	**１次選考**…**「社会課題とリーダーシップ」セミナー（講義の受講及びレポートの作成）** 「社会課題とリーダーシップ」セミナーでは、出願する学科ごとに分けず、「講義」「レポート」を1日で実施します。 ㈠　講義（50分） 社会課題をテーマに教員が講義します。 ㈡　レポート（40分） 講義を踏まえ、レポートを作成します。 **２次選考**…**グループワーク・レポート（75分）・個人面接（20分）** **〈Ａタイプ〉** グループワーク（45分）では、他者との協働を通じて解決策にたどり着くようなワークを行います。グループワークを踏まえ、振り返りレポート（30分）を作成します。 面接は、自己アピール書の内容を３分以内で口頭発表してもらいます。また、志望理由書などの出願書類に基づく質疑およびグループワークに関する質疑をします。 **〈Ｂタイプ〉** グループワーク（45分）では、他者との協働を通じて解決策にたどり着くようなワークを行います。グループワークを踏まえ、振り返りレポート（30分）を作成します。 面接は、自己アピール書の内容を３分以内で口頭発表してもらいます。また活動実績報告書や志望理由書などの出願書類に基づく質疑およびグループワークに関する質疑をします。 いずれのタイプも口頭発表の際の原稿やメモなどの持ち込みは不可とします。また、１次選考との総合判定により、最終合否を決定します。

国際関係学部

求める具体的な学生像	次の⑴～⑹のすべてに該当する人の入学を望みます。 ⑴　世界で生ずるあらゆる出来事に関し、好奇心と探究心を持っている者 ⑵　自分とは異なる価値観、考え方、行動の仕方、生活習慣等に関心を抱くと共に尊重でき、受け入れることができる者 ⑶　国際関係に関わる学問分野を専門的に学びたいという意欲を持つ者 ⑷　国内・海外を問わず、キャンパス外での活動や学びに積極的に取り組める行動力のある者 ⑸　国際関係学部が実施する報告会・発表会などにおいて中心的な役割を担う意欲のある者 ⑹　将来、国際性のある職業に就いてグローバルに活躍したいと希望している者
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 国際関係学部を志望する動機・理由を具体的に記述してください。（1,600 ～ 2,000字程度） **・自らの成果や実績を証明できる添付資料**（任意提出） 英語運用能力を証明する資料（実用英語技能検定、TOEFL®、TOEIC®、IELTS、GTECなどの公的資格試験等のスコアまたは合格証のコピー）のみを「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」に添付して提出してください。（有効期限内のものに限ります。また、全体で主要なもの３点までとします。） ※英検については「デジタル証明書」のプレビュー画面をプリントアウトしたものでも可
選考方法	**１次選考**…**One Dayセミナー** 国際関係学部の教員による約50分の国際問題に関わる講義の後、講義内容の理解度等を確認するための記述式テスト（60分）を実施します。 出願書類とOne Dayセミナーの結果を総合的に判断し、１次選考の合否を決定します。 **２次選考**…**グループディスカッション（約60分）＋個人面接（約30分）** グループディスカッションでは、国際関係に関わる特定のテーマについて議論し、グループとしての提言をまとめることを求めます。なお、討論にあたっては、役割分担がなされる場合もありますが、担当した役割そのものについては、評価の対象としません。 個人面接では志望理由、入学後に学びたい分野やテーマ、卒業後の進路などを問うことにより、国際関係学部で学ぶにふさわしい資質を有しているかを審査します。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

外国語学部

求める具体的な学生像	外国語学部では、優れた語学力を基盤に豊かな教養を身に付け、コミュニケーション能力を高め、グローバル化が進む現代の国際社会で活躍できる人材を育成することを教育目標にしています。そのために、下記の⑴～⑷すべてに該当する人の入学を望みます。 ⑴　専攻語が話される国・地域の言語・文化・社会に関心を持っている人 ⑵　外国語の運用能力を身に付け、異文化コミュニケーションやメディア・コミュニケーションを実践しようとする意欲を持っている人 ⑶　世界の情勢に広く関心を持ち、国際社会で活躍・貢献しようとする意欲を持っている人 ⑷　外国語の学習に必要な継続的学習習慣と基礎的学力を持っている人
特に定めている出願要件	次の⑴～⑶のいずれかに該当する者 ⑴　志望学科（専攻）で専攻する言語、およびその言語が使われている国・地域の政治・経済・文化・社会・歴史・メディアに関心を持って勉強しているテーマがあり、その内容および現在までの勉強の成果を具体的に「成果報告書」（中間経過報告書）に書くとともに、志望学科（専攻）でどのように学びたいかを「志望理由書」に書き、「面接」で発表できる者 ⑵　以下の得点または資格のいずれかの取得者で、その成果を外国語学部での学習にどのように活かしていけるかを「志望理由書」に書き、「面接」で発表できる者 ・「TOEFL iBT®」52点以上 Test Date Scoresに限る（「MyBest™ Scores」は利用できない）。 ・「TOEIC®L&R」500点以上 ・「TOEIC Bridge® L&R」84点以上 ・「TOEIC Bridge® L&R/S&W」170点以上 ※TOEIC（Bridge含む）は、IPテスト・IPオンラインテストは除く。 ・「IELTS（アカデミック・モジュール）」4.0点以上 ・「実用英語技能検定」準２級プラス以上 ※従来型、S-CBT（1day S-CBT）、S-Interview（2days S-Interview）のいずれも可。 ・「GTEC」930点以上（4技能のオフィシャルスコアのみ有効） ・「ドイツ語技能検定」４級以上 ・「実用フランス語技能検定」４級以上 ・「スペイン語技能検定」５級以上 ・「実用イタリア語検定」５級以上 ・「ロシア語能力検定」４級以上 ・「ｔｐｋｉ（ロシア語検定試験）」入門レベル以上 ・「中国語検定」４級以上 ・「HSK」３級以上 ・「ハングル能力検定試験」４級以上 ・「韓国語能力試験（TOPIK）」３級以上 ・「インドネシア語技能検定」Ｅ級以上 ※資格・スコアは出願期間の最終日の時点で、それぞれの資格・検定試験が定めている有効期間内のものだけを利用可能とします。 ⑶　これまでに特色ある活動（文化・芸術・スポーツ活動、社会活動、生徒会活動など）を行ってきた者で、その成果を外国語学部での学習にどのように活かしていけるかを「志望理由書」に書き、「面接」で発表できる者 【注】特に定めている出願要件の⑵に該当する場合は、証明できる資料を出願時に提出してください。また、⑶に該当する場合は、これまでの活動の成果を証明できる資料（ただし主要なもの全体で３点まで）を出願時に提出してください。

（外国語学部　つづき）

<table>
<tr><td>出願書類</td><td colspan="2">・写真（データアップロード）
・調査書
・志望理由書〔本学所定様式〕
特に定めている出願要件に従って記述してください。（1,600 ～ 2,000字程度）
・成果報告書（中間経過報告書）
［表　紙：本学所定様式
報告書：様式任意（用紙サイズ：A4、片面印刷、カラー可、要ページ番号）］
特に定めている出願要件の⑴に該当する場合は、必ず提出してください。（５枚以上（表紙除く））それ以外は任意提出とします。表紙は、本学指定の様式を使用し左上ホチキス止めをしてください。また、成果報告書には表題、目次、参考文献リストをつけてください。
・自らの成果や実績を証明できる添付資料
特に定めている出願要件の⑵または⑶のいずれかに該当する場合は、必ず提出してください。それ以外は任意提出とします。
自らの成果や実績を証明する資料として、新聞や雑誌の記事、論文やレポートのコピー、表彰状のコピー、コンピュータプログラム（USBメモリー、CD、DVDに収録）、資格証明のコピーなどを「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出してください。（ただし、全体で主要なもの３点までとします。）
※英検については「デジタル証明書」のプレビュー画面をプリントアウトしたものでも可
これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部･学科（専攻）を記入してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選考方法</td><td colspan="2">１次選考 …書類審査
出願書類をもとに１次選考の合否を決定します。

２次選考 …小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は学科（専攻）の学びに関するテーマを出題します。
個人面接では、出願書類・小論文の内容に関する質問、表現力・論理的思考力・読解力・語学力などを確認するための質問を行います。
１次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

審査内容の詳細は、以下のとおり学科（専攻）により異なりますので、確認してください。</td></tr>
<tr><td>英語学科</td><td>１次選考 …書類審査
「特に定めている出願要件」の⑴（英語圏の国の言語や文化事象をテーマとして勉強している）を選択する場合には、あるテーマについて、複数の資料を読んだり、自分で体験し取材収集した内容を整理し、それらを自分の考えにそってまとめた成果報告書（所定の用紙５枚以上）が必要。
なお、Webサイトや参考書の丸写し、単なる資料のまとめと感想文では不十分です。

２次選考 …小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は学科の学びに関することを出題します。
面接は英語で自己紹介し、大学で学びたいことおよび将来についての計画を語ることを要求します。</td></tr>
</table>

（外国語学部　つづき）

<table>
<tr><td rowspan="3">選考方法</td><td rowspan="3">ヨーロッパ言語学科</td><td>ドイツ語専攻</td><td>１次選考…書類審査
志望理由書に次の2点を具体的に明記すること。
⑴ドイツ語あるいはドイツ語圏に興味を抱くようになった経緯、または理由。
⑵本学のドイツ語専攻を志望する動機。
調査書に記されている高等学校等での勉学状況や課外活動等についても入念に検討します。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は出願書類と小論文試験での筆記内容を参考に、志願者の勉学への意欲を見ます。特に次の２点に注意を払うこと。
⑴質問内容をよく理解し、的確に答えることができるかどうか。
⑵学ぶことへの熱意が伝わってくるかどうか。</td></tr>
<tr><td>フランス語専攻</td><td>１次選考…書類審査
志望動機など、本人の主張がどこまで論理的に組み立てられているか、また、その論理がどこまで具体的に展開されているかを見ます。
提出された書類などから、本専攻で、本人が十分にフランス語を学び、それに基づいて、大学での学習を発展させていけると十分見込めるかを見ます。
誤字、脱字等がなく、適切な日本語で書かれているかを見ます。
調査書も審査の参考にします。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は出願書類の内容について質問します。入学後の抱負について具体的に説明してもらい、本専攻の他の学生を発揚させるような活躍が見込めるかを見ます。</td></tr>
<tr><td>スペイン語専攻</td><td>１次選考…書類審査
志望理由書には、⑴これまでの特記すべき学習のテーマやその過程、クラブ活動など学内外の活動のあらまし、⑵スペイン語学習の志望動機や本専攻の志望理由、⑶入学後の大学生活の抱負と、将来の研究や進路志望の３点について、どれほど具体的かつ明確に述べられているかを見ます。
調査書も審査の参考にします。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は出願書類に関して、いくつかのポイントについて、面接の場で説明してもらいます。入学後、本専攻の他の学生に刺激となるような活躍が見込めるかを見ます。日本語の文章を音読し、その要旨を説明してもらいます。また、スペイン語の既習者には、その簡単な会話を通して、その運用能力を見ます。</td></tr>
</table>

（外国語学部　つづき）

<table>
<tr><td rowspan="5">選考方法</td><td rowspan="3">ヨーロッパ言語学科</td><td>イタリア語専攻</td><td>１次選考…書類審査
志望理由書の中に、イタリア語やイタリア文化を学びたいという強い意欲が感じられるかを見ます。
これまでの活動をアピールしたい場合には、その活動がこれからの勉学にどのように結びつき、どのように活かされるのか、という点が具体的に説明できているかを見ます。
語学学習には日々の地道な努力が必要なので、調査書から勉学態度や出席状況も参考にします。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接はイタリア語を学びたいという意欲を見る以外に、新聞のコラムなどを用いて、正確に音読できるか、短時間で文章の意味を把握し、自分の意見をまとめることができるかを見ます。</td></tr>
<tr><td>ロシア語専攻</td><td>１次選考…書類審査
ロシアに興味を持つようになった経緯を具体的に述べ、自分の考えや入学後の展望を論理的に秩序立てて説明できるか、また継続して学習する習慣を持っているかを見ます。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は出願書類と語学力に関係した質問に対し、明確に答えられるか、また協調性があるかを見ます。</td></tr>
<tr><td>メディア・コミュニケーション専攻</td><td>１次選考…書類審査
志望理由書に次の２点を具体的に明記すること。
⑴メディア分野に興味を持つようになった理由
⑵本学のメディア・コミュニケーション専攻を志望する動機
調査書に記載されている高等学校等での勉学状況や課外活動等も審査の参考にします。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は出願書類と小論文を基に、勉学意欲や入学後の抱負などを吟味します。質問に的確に答えられることや学ぶことへの熱意を特に重視します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アジア言語学科</td><td>中国語専攻</td><td>１次選考…書類審査
志望の理由が明確に中国語習得におかれているかを見ます。
調査書も審査の参考にします。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は志望理由を明確に述べること。目標が中国語の習得であることを示すこと。短い日本語で書かれた評論文を朗読してもらった後、その内容について質問するので、内容を正確に理解しつつ読むこと。中国語既習者には簡単な日常会話を試します。聞き取り能力と返答能力が身に付いているかを見ます。</td></tr>
</table>

（外国語学部　つづき）

<table>
<tr><td rowspan="3">選考方法</td><td rowspan="3">アジア言語学科</td><td>韓国語専攻</td><td>１次選考…書類審査
志望理由書に、⑴韓国に興味を持ったきっかけ、⑵本専攻への志望理由、⑶入学後の計画、⑷将来の希望の４点について具体的に述べること。明確な文章で書かれているか、論理的に構成されているかを見ます。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は出願書類を基に、韓国語を学びたいという意欲を確認します。最近韓国で起こった事件など、韓国の現代事情について自分の意見を発表できるかを見ます。</td></tr>
<tr><td>インドネシア語専攻</td><td>１次選考…書類審査
⑴志望動機などの記述の中で、インドネシアの言語や文化などに関する興味や夢などが具体的に展開されているかを見ます。
⑵提出された書類などから、入学後に本人が意欲を持ってインドネシアの言語や文化を学んでいけると十分に見込めるかを見ます。
⑶誤字、脱字等がなく、適切な日本語で書かれているかを見ます。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は書類審査の⑴、⑵の内容について質問します。入学後の抱負について具体的に説明してもらい、本専攻の他の学生に刺激を与えるような活躍が見込めるかを見ます。</td></tr>
<tr><td>日本語・コミュニケーション専攻</td><td>１次選考…書類審査
⑴志望理由書に、次の点が具体的かつ論理的に記述されているかを見ます。
・日本語教育や日本語に興味を持った理由や経緯
・日本語・コミュニケーション専攻を志望する動機、本学で何を学びたいのか、学んだことをどのように社会に役立てたいか
⑵調査書に明記されている高等学校等での勉学状況や課外活動等についても十分に吟味し、参考にします。

２次選考…小論文（60分）+個人面接（約30分）
小論文は専攻の学びに関するテーマを出題します。
面接は志望理由書に書かれたこと等を参考に、志願者の勉学への意欲や姿勢、基礎的な思考力や表現力を見ます。</td></tr>
</table>

文化学部

求める具体的な学生像	文化学部では、「文化学の素養と豊かな教養をもち、地域社会及び国際社会に貢献する意欲を有し、柔軟な適応力と文化に関わる諸問題に対処できる能力を備えた人材の養成」を目的としています。 この入試では、入学前に「文化」に関する取り組みや経験、実績を有し、思考力と文章および口頭の表現力を備え、各学科において次のような人材を求めています。 **＜文化構想学科＞** 「歴史、思想、文学、芸術といった人文学の知識と方法論を基礎に、情報学的手法を取り入れながら、国際的なコミュニケーションを可能とする英語運用能力を用いて文化交流・発信に努め、人間らしい文化的な社会を構想し、その実現のために協働できる人材」となり得る人材として、「世界の多様性を理解し、様々な背景や立場の人々と文化に関わる諸課題を共有し、文化的な社会の発展に貢献する姿勢を持つ人材」を受け入れます。 具体的には、次のような目標や志を持った人材を求めています。 ⑴　自らの好奇心に従い、好きなことを追求したい人 ⑵　新しい文化や価値を創造したい人 ⑶　さまざまな文化に触れ、視野を広げたい人 ⑷　歴史や思想を深く学び、知識や思考力を高めたい人 ⑸　文学や芸術に触れ、表現力を伸ばしたい人 ⑹　学んだことをSNS や動画、スピーチ、パフォーマンスなどで発信したい人 ⑺　英語などの外国語を用いて海外の人と積極的に交流したい人 ⑻　情報技術やメディアテクノロジーを使って、情報を集めたり、表現したり、発信したりしたい人 ⑼　マスメディアや舞台芸術、出版業界などで活躍したり、新しい仕事を創出したりしたい人 ⑽　予測のつかない時代に自分の生き方を見つけたい人 **＜京都文化学科＞** 「京都文化・日本文化に関わる学問分野において幅広い教養を育み、専門的に探究しうる力量を養うとともに、豊かな感性と論理的思考力を身に付け、状況対応能力・実践力をもつ人材、京都文化･日本文化を海外に発信できる英語運用能力をもつ人材」となり得る人材として、「世界の多様性を理解し、様々な背景や立場の人々と文化に関わる諸課題を共有し、文化的な社会の発展に貢献する姿勢を持つ人材」を受け入れます。 具体的には、次のような目標や志を持った人材を求めています。 ⑴　文化芸術に関する経験を、さらに大学で深めたい人 ⑵　京都文化・日本文化について深く学びたい人 ⑶　日本や京都の歴史・文学を深く学びたい人 ⑷　京都の伝統文化を現場で学びたい人 ⑸　地域文化を学び、地域の活性化に携わりたい人 ⑹　英語などの外国語を使って、国際交流を実践したい人 ⑺　学んだことを学校教育の場で活かしたい人 ⑻　京都の伝統文化と文化財に関わる仕事がしたい人 ⑼　情報技術やメディアテクノロジーを学んで、京都文化をSNS や動画などで発信したい人 ⑽　京都の昔を学び、今に向き合い、未来を考えたい人

（文化学部　つづき）

	〈文化観光学科〉 「他者や異文化と出合うという広義の観光について学術的に考察するとともに、情報学的手法を取り入れながら、地域社会・地域文化の発展に主体的に取り組み、その魅力を世界に向けて表現・発信できる人材」となり得る人材として、「世界の多様性を理解し、様々な背景や立場の人々と文化観光に関わる諸課題を共有し、社会の発展に貢献する姿勢を持つ人材」を受け入れます。 具体的には、次のような目標や志を持った人材を求めています。 ⑴　未来の文化観光の望ましいあり方を探りたい人 ⑵　さまざまな観光のあり方を理解し、学び続けたい人 ⑶　これまでに観光に関わる取り組みを経験し、大学でさらに深めたい人 ⑷　グローバル観光都市・京都で文化観光を学びたい人 ⑸　観光立国のあり方を、国内外の取り組みと比較して考えたい人 ⑹　観光を通じて、地域社会の未来に貢献したい人 ⑺　情報技術やメディアテクノロジーを観光の現場に活かしたい人 ⑻　英語などの外国語や国際交流の体験を活かして、観光業界で活躍したい人 ⑼　観光が抱える問題に取り組み、観光と社会の調和を考えたい人 ⑽　観光に関わるさまざまな人々と協力して、よりよい観光を創生したい人
特に定めている出願要件	高等学校在学中に、次の⑴～⑶に該当する経験や実績等がある者とします。 ⑴「文化」に関する取り組みや経験、実績 ・地域活性化や文化保存などに関わるボランティア活動 ・新聞などのメディアで取材・報道された、文化に関わる個人・団体活動 ・企業や団体との間で、文化に関わる新商品や新サービスを開発した経験や実績 ・企画立案や動画コンテスト、作文賞などの、公的機関や企業等が主催または後援する各種のコンテストでの入賞歴 ※団体活動の場合は、自分の役割を明確にすること ⑵　英語運用能力の検定 ・実用英語技能検定準２級以上 ・TOEIC® L&R 500 点以上 ・TOEIC Bridge® L&R 84 点以上 ・TOEIC Bridge® L&R/S&W 170 点以上 ※TOEIC（Bridge 含む）は、IP テスト・IP オンラインテストは除く ・TOEFL iBT® 52 点以上 ※Test Date Scores に限る（「My Best™ Scores」は利用できない） ・IELTS（アカデミック・モジュール）4.0 以上 ・GTEC 930 点以上（4 技能のオフィシャルスコアのみ有効） ⑶　文化の知識に関わる各種検定 ・世界遺産検定３級以上 ・京都・観光文化検定試験３級以上 ・漢字検定準２級以上 ・統計検定３級以上 ・地図地理検定（基礎）

（文化学部　つづき）

出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 以下の点についてすべて記述してください。（1,600 ～ 2,000 字程度） ①出願に至った動機 ②入学後に学びたい研究テーマ ③「特に定めている出願要件」の⑴～⑶を選択（複数可）するとともに、「これまでの活動」と「②入学後に学びたい研究テーマ」との関わり ④卒業後の展望 **・自らの成果や実績を証明できる添付資料** 志望理由書の③を証明する資料です。自ら作成した論文・レポート、活動が紹介された新聞や雑誌の記事、表彰状、活動を記録したUSBメモリー、活動や資格に関する証明書などとなります。（いずれもコピー可） これらを、「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出してください。（ただし、主要なもの３点以内とします） ※英検については「デジタル証明書」のプレビュー画面をプリントアウトしたものでも可 これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部・学科を記入してください。
選考方法	**１次選考**・・・**One Dayセミナー** 文化学部の教員による約50分間の模擬講義（セミナー）を実施し、その後、講義内容の理解度を試すため、記述式テスト（60分）を行います。学科共通で実施し、入学後、授業についていくことができる力（理解力・姿勢）があるかをみます。 One Dayセミナーでの記述式テストおよび出願書類との総合判定により、１次選考の合否を決定します。 **２次選考**・・・**プレゼンテーション（約10分）+質疑応答・個人面接（約20分）** プレゼンテーションは、あなたが興味・関心をもって調べてまとめた、世界または京都の文化（歴史、思想、文学、芸術）、観光、デジタル文化、未来社会などに関する研究発表を行ってもらいます。 その後、プレゼンテーションに関する質疑応答および個人面接を実施します。プレゼンテーションおよび質疑応答・個人面接は学科ごとに実施し、主体的な学びの基礎ができているか、コミュニケーション力があるかをみます。 発表形式は、自分のプレゼンテーションを効果的に行うために必要だと思われる場合には、視覚的補助となるもの（配付資料、ポスターなど）を持ち込むことが可能です。（資料を配付する場合には、必ず氏名、出願学部・学科を記入し、４部用意してください。） 詳細については、１次選考合格者へ通知します。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

理学部　数理科学科

求める具体的な学生像	理学部は伝統と時代の最先端が交差するところです。そこには、豊かな叡智の堆積があり、初々しい英知の芽生えの予感が満ちています。 自らの手で夢の種子を蒔き人生を開拓せんとする若者にとって、理学部は青春を燃焼させる格好の舞台です。 そのために次の⑴～⑷のいずれかに該当する人の入学を望みます。 ⑴　数学またはその応用に強い興味を持っている人 ⑵　数理科学科で学ぶはっきりした目的（例えば、教員志望など）を持っている人 ⑶　難しい問題をすぐに投げ出さずに、じっくり取り組むことのできる人 ⑷　問題の意味を正確に把握し、自分の考えた内容を正しく表現できる人
特に定めている出願要件	次の⑴または⑵のいずれかに該当する者 ⑴　高等学校等で数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cをすべて履修していること。 ⑵「実用数学技能検定」２級以上の資格を取得していること。 【注】P. 2の「Ⓒ出願資格⑶」に該当する場合については、上記⑴に相当する教育を受けているか、または「実用数学技能検定」２級以上の資格を取得していること。
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 ①数学に興味を持つようになった理由、②数理科学科を志望する理由、について具体的に記述してください。（1,200 ～ 1,600字程度） **・課題レポート** ［表　紙：本学所定様式 報告書：様式任意（用紙サイズ：A4、片面印刷、カラー可、要ページ番号）］ 今まで学んだ数学の中で、最も感銘を受けた事柄（公式、定理、法則など）の内容、教科書にない証明方法、教科書の「研究・発展」の内容で興味を持ったことなどについて詳細に記述してください。（３枚程度（表紙除く）） 表紙は、本学指定の様式を使用し左上ホチキス止めをしてください。レポートの様式は任意とします。 **・自らの成果や実績を証明できる添付資料** 特に定めている出願要件の⑴に該当する場合は、任意提出とします。 特に定めている出願要件の⑵に該当する場合は、「実用数学技能検定」合格証のコピーを「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に必ず提出してください。 また、自らの成果や実績を証明する資料として、新聞や雑誌の記事、論文やレポートのコピー、表彰状のコピー、コンピュータプログラム（USBメモリー、CD、DVDに収録）、資格証明のコピーなどを提出する場合は、「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出してください。 これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部・学科を記入してください。
選考方法	**１次選考**…**書類審査** 出願書類をもとに１次選考の合否を決定します。 **２次選考**…**筆記試験（30分）+個人面接（約40分）** 筆記試験は、出題範囲を「数学Ⅲ」とし、標準的な問題を出題します。 個人面接は、これまでの勉強や活動、数理科学科入学後の勉強の方向、将来の進路志望について、これらを関連づけながら明確に述べてもらいます。 また、課題レポートで書かれた内容について、黒板またはホワイトボードを使用（パソコン等の機器、模造紙は不可）し、15分程度のプレゼンテーションをしてもらいます。その後、プレゼンテーションの内容、数学、特に「数学Ⅲ」の基礎知識についての質疑応答を25分程度行います。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

理学部　物理科学科

求める具体的な学生像	理学部は伝統と時代の最先端が交差するところです。そこには、豊かな叡智の堆積があり、初々しい英知の芽生えの予感が満ちています。 自らの手で夢の種子を蒔き人生を開拓せんとする若者にとって、理学部は青春を燃焼させる格好の舞台です。 そのために次の⑴～⑵に該当する人の入学を望みます。 ⑴　科学に興味を持ち、探求心を持って学業に専念できる人 ⑵　物理の実験や理論、数学、およびコンピュータに興味がある人
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 なぜ物理に興味を持ち、本学理学部物理科学科を志望するのか、具体的に記述してください。図や写真を使ってもかまいません。（1,600 ～ 2,000字程度） **・自らの成果や実績を証明できる添付資料** 任意提出とします。 新聞や雑誌の記事、論文やレポートのコピー、表彰状のコピー、コンピュータプログラム（USBメモリー、CD、DVDに収録）、資格証明のコピーなどを「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出してください。 これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部・学科を記入してください。
選考方法	**１次選考**…**書類審査** 出願書類をもとに１次選考の合否を決定します。 **２次選考**…**筆記試験（30分）+個人面接（約30分）** 筆記試験は、数学および物理を出題します。数学は、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂを出題範囲とし、教科書の演習・章末問題レベルとします。物理は、力学を出題範囲とし、その基本についての理解を問う問題を出題します。 個人面接は、これまでの勉学や活動をふまえ、入学後の勉学の抱負と進路志望について述べてもらいます。また、物理と微分・積分などの数学の基礎知識についての口頭試験を個人面接の中で15分程度行います。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

理学部　宇宙物理・気象学科

求める具体的な学生像	宇宙物理･気象学科では、地球から宇宙までの幅広いスケールの自然現象を系統的･実践的に学び、そして深く探求できる環境を整えています。 そこで次の⑴～⑷のいずれかに該当する人の入学を望みます。 ⑴　地球と地球を取り巻く環境、宇宙などに興味を持ち、高等学校等で理科の研究活動に取り組んできた人 ⑵　大気や宇宙など我々を取り巻く大スケールの自然に強い関心があり、その根底にある原理を探求しようとする人 ⑶　地球・宇宙規模で起きている多様な現象の中にある問題に取り組む情熱を持っている人 ⑷　観測や実験が好きで、測定・解析の原理や装置の作成・改良に深い興味がある人
特に定めている出願要件	次の⑴または⑵①～③のいずれかに該当する者 ⑴　高等学校等で数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃおよび物理基礎・物理をすべて履修していること。 ⑵　①高等学校等で数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃをすべて履修し、「実用理科技能検定　物理検定」1級の資格を有していること。 ②「実用数学技能検定」2級以上の資格を有し、高等学校等で物理基礎・物理をすべて履修していること。 ③「実用数学技能検定」2級以上と「実用理科技能検定　物理検定」1級の資格を有していること。 【注】P. 2の「ⒸC出願資格⑶」に該当する場合、上記⑴から⑵までの要件における数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃおよび物理基礎・物理の履修の部分については、日本の高等学校等の該当科目に相当する教育を受けていること。
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 ①宇宙物理学または気象学に興味を持つようになった理由、②宇宙物理・気象学科を志望する理由、について具体的に記述してください。（1,600 ～ 2,000字程度） **・課題レポート** ［表　紙：本学所定様式 報告書：様式任意（用紙サイズ：A4、片面印刷、カラー可、要ページ番号）］ 今まで学んだ物理学、宇宙物理学・気象学、あるいは、地球や地球を取り巻く環境に関連する事柄の中で最も感銘を受けたこと（実験、観測、法則あるいは天体・気象現象など）に関連する課題研究や探究活動を記述してください。 表紙は、本学指定の様式を使用し左上ホチキス止めをしてください。レポートの様式は任意とします。 **・自らの成果や実績を証明できる添付資料** 特に定めている出願要件の⑴に該当する場合は、任意提出とします。 特に定めている出願要件の⑵に該当する場合は、「実用数学技能検定」や「実用理科技能検定　物理検定」合格証のコピーを「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に必ず提出してください。 また、自らの成果や実績を証明する資料として、新聞や雑誌の記事、論文やレポートのコピー、表彰状のコピー、コンピュータプログラム（USBメモリー、CD、DVDに収録）、資格証明のコピーなどを提出する場合は、「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出してください。 これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部・学科を記入してください。
選考方法	**１次選考**…**書類審査** 出願書類をもとに１次選考の合否を決定します。 **２次選考**…**個人面接（約50分）** これまでの勉学や活動をふまえて、入学後の勉学の方向と進路志望について、明確に述べてもらいます。また、課題レポートに書いた事柄について、黒板またはホワイトボード、Ａ０判サイズまでの自作のポスターあるいはパソコンを使用し、10分程度のプレゼンテーションをしてもらいます。その後、プレゼンテーションの内容の質疑応答、物理学と数学の基礎知識についての口頭試験を40分程度行います。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

情報理工学部

求める具体的な学生像	次の(1)～(3)のいずれかに該当する人の入学を望みます。 (1) コンピュータのハードウェアやソフトウェアをはじめとして情報関連分野に強い関心を持っている人 (2) コンピュータの利用について基礎的な能力を備えている人 (3) ある程度のプログラム作成や電子工作などの経験をすでに積んでいる人
特に定めている出願要件	自らのアイデアに基づいて、自身で作成した作品（ハードウェアやソフトウェアなど）とその説明書を提出し、面接で発表できる者 コンピュータや情報分野に関わる自らの成果や実績を証明できる資料がある場合には、それらを添付することが望ましい。
出願書類 （作品を含む）	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 本学部を志望する動機と、その目的を実現するために過去に取り組んできたこと、及び現在取り組んでいることについて、具体的に記述してください。（1,600 ～ 2,000字程度） **・自らの成果や実績を証明できる添付資料（任意提出）** 自らの成果や実績を証明する資料として、新聞や雑誌の記事、論文やレポートのコピー、表彰状のコピー、資格証明のコピー、コンピュータプログラム（USBメモリー、CD、DVDに収録）などを「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出してください。 これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部・学科を記入してください。 **・自作のハードウェアやソフトウェアなどの作品**※ ハードウェアの場合は、作品の実物の代わりに作品の動作の様子がわかるような画像またはビデオ（可能ならDVD-R）を提出してください。ソフトウェアは出願者本人が実際に記述したプログラムの文面（いわゆるソースコード）が読める形でCD-RもしくはDVD-R、USBメモリーに記録して提出してください。また、ソフトウェア作品に関しても、動作状況や実行結果を録画したビデオ（可能ならDVD-R）を一緒に提出してください。実行結果が音のみの場合には、実行結果を録音したサウンドデータ（可能ならばWAVファイル）を一緒に提出してください。 **・提出作品の説明書**〔表紙のみ本学所定様式〕 説明書を見れば、作品自体の目的、機能、新しい点がわかるほか、出願者本人の作成動機や作成範囲、工夫点がわかるよう記述してください。作成範囲については、すべてオリジナルで作成したものか、あるいは部分的作成（授業の課題や既存プログラムなどを元に作成したもの）であればどの部分が出願者オリジナルの部分かを明記してください。ソフトウェアの場合は、実行に必要なハードウェアの仕様や実行方法・実行に必要な他のソフトウェアやデータ・操作手順などがわかるよう具体的に記述してください。また、図や表、表示画面なども織り交ぜてわかりやすく説明する工夫は自由に行うことができます。

※ 下記URLにアクセスすると、過去に合格者が提出した自作のハードウェアやソフトウェアなどの作品情報が確認できます。

URL https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/entrance_method/ao/ise_point/

（情報理工学部　つづき）

選考方法	**１次選考** …**書類審査（作品と説明書の審査）** 作品とともに、作品の説明書に必要な事項がわかりやすく的確に書かれているかについても審査を行います。ソフトウェア作品の場合、プログラム本文の審査も行います。 なお、調査書や任意提出の自らの成果や実績を証明できる添付資料の内容からも、本人の能力や活動実績・成果の評価を行います。 **２次選考** …**個人面接（約30分）** 自身が提出した作品に関する質疑応答を行います。 上記に加えて、これまでに行ってきた勉強や活動と情報理工学部への入学後の勉学の方向、卒業後の進路についての考えを述べてもらいます。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

生命科学部

求める具体的な学生像	生命科学部は、生命科学の知識や研究成果を医療、医薬、化学、食品、化粧品、環境などの分野で活かせる研究者・技術者や、生命科学の知識や研究成果に基づいて生命科学に関連する社会的な課題を解決できる人材を養成することを目的としています。総合型選抜入試では、従来の筆記試験では見いだし得なかった“自然科学や科学技術に強い興味を持ち、新たな可能性にチャレンジする人”を求めています。 そのために次の⑴～⑷のすべてに該当する人の入学を望みます。 ⑴　高い学修意欲を持ち、探究心の旺盛な人 ⑵　実験や調査にねばり強く取り組むことのできる人 ⑶　生物や化学に関する基礎的な知識を備えている人 ⑷　学内行事等に積極的に参加し、リーダーシップを発揮できる人
特に定めている出願要件	次の⑴または⑵のいずれかに該当する者（出願する際は、⑴または⑵のどちらかを選択してください。） **⑴　課題提出型** 高等学校等でおこなった生物もしくは化学の課題研究や探究活動などの成果を「成果報告書」（中間経過報告書）として書きまとめてください。 なお、学校や地域の理科クラブなどで参加した研究活動についても、全体の活動における個人の関わりを記したうえで、個人が取り組んだ研究活動や成果を抽出し、成果報告書に代えることができます。 **⑵　学科試験型** 高等学校等における次の①～③のうち２つを履修していること。 ①生物［生物基礎および生物］ ②化学［化学基礎および化学］ ③物理［物理基礎および物理］
出願書類	**〈特に定めている出願要件⑴、⑵共通〉** **・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 志望の動機、大学入学後の勉学目的を記述してください。（1,600 ～ 2,000字程度） **〈特に定めている出願要件⑴課題提出型に該当する出願者〉** **・成果報告書（中間経過報告書）** ［表　紙：本学所定様式 報告書：様式任意（用紙サイズ：A4、片面印刷、カラー可、要ページ番号）］ 特に定めている出願要件に従って、必ず提出してください。また、参考にした図書やWebサイトのアドレスも明記してください。 表紙は、本学指定の様式を使用し左上ホチキス止めをしてください。成果報告書の様式は任意とします（枚数指定なし）。 **・自らの成果や実績を証明できる添付資料（任意提出）** 自らの成果や実績を証明する資料として、新聞や雑誌の記事、論文やレポートのコピー、表彰状のコピー、コンピュータプログラム（USBメモリー、CD、DVDに収録）、資格証明のコピーなどを「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」と一緒に提出することができます。 これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部・学科を記入してください。

（生命科学部　つづき）

選考方法	特に定めている出願要件⑴、⑵のいずれかによって、以下の選考を行います。 ⑴　**課題提出型** **１次選考…書類審査** 出願書類をもとに１次選考の合否を決定します。 **２次選考…個人面接（約45分）** 「成果報告書（中間経過報告書）」の内容について、各自が準備した資料（プリントやパワーポイントなど）を用いて、約15分間発表してもらいます。その後、発表内容・生物や化学の基礎知識に関する質問を約30分間行います。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。 ⑵　**学科試験型** **１次選考…筆記試験（40分）、模擬講義（約40分）と振り返りレポート（45分）** 生物基礎および化学基礎のいずれか１科目を出願時に選択し、各科目の範囲から学科試験（40分）を実施します。 その後、生命科学部の教員による約40分の模擬講義を実施し、講義内容の理解を確認する振り返りレポートの作成（45分）を行います。 出願書類、学科試験および振り返りレポートをもとに１次選考の合否を決定します。 **２次選考…個人面接（約30分）** １次選考および「志望理由書」の内容について、質疑応答を行います。 １次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

アントレプレナーシップ学環　＜探究・挑戦志向入試＞

AI（人工知能）との共存が進む中で、これからの「人」に期待されることは、社会をあるべき方向に動かしていくための「イノベーション（さまざまな変革）」を起こすことです。そのためには、これから起こり得る変化に向き合い、社会を探求し、未来を構想して、大きな志を持って当事者として挑戦していくことが必要です。アントレプレナーシップ学環では、基礎学力だけでない、これからの人に必要となる資質・能力を評価する「探究・挑戦志向入試」を実施します。

求める具体的な学生像	高等学校での探究学習や、校内外での自主的な活動等に飽き足らず、地域や社会の発展のために、事業（ビジネス）としてカタチにすることに行動・挑戦していきたい人、すなわち「社会の発展のために自らの解を探究し、事業を起こすこと、あるいは事業を革新していくことに強い関心を有し、その実現に向けて、他者の協力を得ながら挑戦する姿勢を持つ人」を求めます。 **【必要となる資質・能力】** **1. 知識・技能** ・社会の変化や課題に広く関心を持ち、理解するための基礎的知識・技能 **2. 思考力・判断力・表現力** ・論理的に情報を整理し、自らの考えをまとめる思考力 ・自らを客観視して、改善・深化すべき点を見定める判断力 ・他者に向けて自分の考えや計画を伝える表現力 **3. 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度** ・他者の協力を得ながら、自ら行動する主体性 ・困難や失敗に際しても、挑戦する姿勢 **4. 未来志向** ・より良い社会を実現することへの関心 ・事業を起こすことや、事業を継承・発展させていくことへの関心 ・自分自身の将来像を描く力 **具体的には** ・未来に強い関心があり、多様な人から刺激を受けて、行動していきたい人 ・社会の諸課題に関心があり、その解決に向けて、行動していきたい人 ・具体的なビジネスのアイデアを持ち、その実現のための学びを進め、行動していきたい人 ・家業継承にあたり、新しい事業の可能性を探索して、行動していきたい人
出願書類	**・写真（データアップロード）** **・調査書** **・志望理由書**〔本学所定様式〕 上記「求める具体的な学生像」を踏まえて、最も強い意志をもって取り組んだ、高等学校における探究学習や、自主的な活動（学校内外を問わない）等について、①テーマとその設定の理由、②挑戦・行動の内容と結果（※）、③本学環入学後は①②を踏まえてどう行動していきたいのかを、具体的に記述してください。（1,200字以内） ※挑戦・行動の成功・失敗は問いません。（望んだ通りの結果とならなかったことでも構いません。） **・自らの成果や実績を証明できる添付資料（任意提出）** ビジネスコンテスト等の実績が分かる資料のコピー、新聞や雑誌の記事のコピー、論文やレポートのコピー、表彰状のコピー、資格証明のコピー、コンピュータプログラムなどを任意で提出することができます。 これらを提出する場合は、「自らの成果や実績を証明できる添付資料一覧〔本学所定様式〕」に必要事項を記入し、この様式の裏面に、提出する上記コピーをのりやテープなどで貼付してください。コンピュータプログラムはUSBメモリーへ保存して提出してください。 これらの添付資料には、必ず氏名、出願学部（アントレプレナーシップ学環）を記入してください。コンピュータプログラムは、ファイル名にこれらを含んでください。 添付資料は返却しませんので、必ずコピーを提出してください。 **・自己アピール動画（３分以内）（データアップロード）** 本人が登場する３分以内の動画で、志望理由書に記した上記①、②、③について、取組に掛ける熱意、本学環入学後や卒業後の展望等をアピールしてください。 「自己アピール動画の作成および提出上の注意」（P.28）を読んだうえで作成・提出してください。

（アントレプレナーシップ学環　つづき）

自己アピール動画の作成および提出上の注意	**【動画の要件について】** ・動画の長さは３分以内とします。 ・提出できるファイルは１つのみです。 ・動画中に必ず本人が登場するようにしてください。（一度でも登場していればよく、動画全編で登場している必要はありません。） ・「.mp4 / .mov / .wmv / .mpeg / .m4v / .webm」のいずれかの動画形式で提出してください。 ・動画のファイル名は「出願番号・氏名（例：123456・京産太郎.mp4)」としてください。（出願番号はUCAROでの出願が完了すると確認できます。） ※解像度とアスペクト比の指定はありませんが、視聴に適したものを提出してください。 ※提出前にVLC media player（ https://www.videolan.org/ ）等で視聴可能か確認することを推奨します。 **【動画のポイントについて】** ・文章ではなく、動画だからこそ伝えることができる事柄を表現してください。 ・あなた自身が、どのような人なのか、どのような思いを持っているのか、どう行動していきたいのかを伝えてください。 ・最も強い意志をもって取り組んだ活動について、挑戦・行動の結果の成功・失敗は問いません。あなたの挑戦とその過程を評価します。 ・動画審査は、動画自体の質や編集技術を問うものではありませんが、自身の活動や熱意を具体的にアピールするための工夫は精一杯行ってください。そのため動画のスタイルはあえて指定していません。 **【動画の提出方法について】** UCAROでのWeb出願完了および受験料（入学検定料）の入金完了日の翌営業日（土日祝除く）に、出願時に登録されたメールアドレス宛に、本学より①ファイル送信依頼メール、②システム利用時に必要となるパスワード連絡メールを送信します。 ＜件名＞①【京都産業大学】ファイル送信依頼のご連絡 ②【京都産業大学】ファイル送信依頼パスワードのご連絡 ＜送信元アドレス＞noreply@cc.kyoto-su.ac.jp ※「@cc.kyoto-su.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に設定してください 上記メール受信後、９月10日（水）23：00までに動画ファイルを提出（アップロード）してください。なお、Web出願完了および受験料（入学検定料）の入金完了日の翌営業日14時を過ぎても本学からのメールが届かない場合は、入学センター（TEL.075-705-1437）までご連絡ください。 ＜注意事項＞ ・ファイル送信サービスの利用期間は１週間のため、提出期日までに利用期限が過ぎてしまい送信できない場合は入学センターにご連絡ください。 ・９月10日（水）23：00までに動画の提出がなかった場合は、出願不成立とし受験を認めません。期限に余裕をもって提出してください。 ・ファイル送信サービスの利用方法および動画提出手順については、必ず下記URL「総合型選抜入試」の項目より確認してください。 https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/nagare/download/ ・自己アピール動画以外の出願書類は、出願期間内に郵送を完了してください（締切日消印有効）。

<table>
<tr><td></td><td>

【出願から自己アピール動画提出までの流れ】

<table>
<tr><th>出願者</th><th>京都産業大学入学センター</th></tr>
<tr><td>UCARO での出願完了および
受験料（入学検定料）の入金完了
[※９月８日（月）23：00〆]</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>翌営業日（土日祝除く）に、出願時に登録されたメールアドレス宛に動画アップロードに関するメールを送信</td></tr>
<tr><td>９月 10 日（水）23：00 までに動画を提出</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>提出された動画をダウンロード</td></tr>
<tr><td>ダウンロード完了通知メールが届く</td><td></td></tr>
</table>

</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td>

１次選考…**書類・動画審査**
提出された志望理由書等の書類および自己アピール動画で、志望理由書に記載する①、②、③について、一貫して論理的かつ熱意をもって述べられているかを評価します。

２次選考…**個人面接（約20分）**
１次選考通過者を対象に、提出された志望理由書等の書類、自己アピール動画の内容について個人面接を行い、１次選考結果との総合判定により、最終合否を決定します。

</td></tr>
</table>

(F)　出願書類

出　願　書　類	注　意　事　項
①写真（データアップロード）	出願前３ヶ月以内に撮影したもの。（カラーに限る、正面上半身脱帽、背景無地。適切な写真例については、P.57 で確認してください。）
②調査書等（原本）	(ア)　高等学校または中等教育学校の卒業（見込）者、高等専門学校第３学年修了（見込）者 〈調査書〉 文部科学省が定める様式により、出身学校長が出願前３ヶ月以内に作成し厳封したものとします。（成績は各学年とも記入し、最終学年の成績は、出願する直近における成績を総合し、判定したものを記入。） (イ)　外国において学校教育における 12 年の課程修了（見込）者 〈修了（見込）証明書＋成績証明書〉 日本と外国両方の高校に在学した者は、日本の高等学校在学時の成績証明書等も提出してください。 (ウ)　高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者または大学入学資格検定の合格者 〈合格証明書または合格（見込）成績証明書〉 (エ)　高等学校卒業後５年以上経過するなどの理由により、高等学校または中等教育学校より調査書の発行が受けられない者 〈卒業証明書＋単位修得証明書または成績証明書〉
③その他の出願書類	出願する学部等により提出する書類が異なります。必ず「(E)各学部・学科・専攻・学環が定める事項」（P. 3 ～ 29）で詳細を確認し、要領に従って作成してください。 提出された資料は返却しません。本学所定様式以外の証明書などの添付資料は必ずコピーを添付し、氏名、出願学部・学科・専攻・学環を記入してください。

【注】１.提出された資料は返却しません。
２.③その他の出願書類における本学所定様式以外の証明書などの添付資料は、必ずコピーを添付してください。
３.健康診断書は提出不要です。入学後、全員に健康診断を行います。
４.出願書類に虚偽があった場合、受験資格を失効とします。

〈入試情報サイト〉

◆学部・学環別出願書類一覧

以下の出願書類③のうち㈠～㈨、㈥の各様式は本学入試情報サイト（https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/）からダウンロードし、A4用紙に片面印刷したものを提出してください。

出願書類 ＼ 学部・学環		経済学部	経営学部	法学部	現代社会学部	国際関係学部	外国語学部	文化学部	宇宙物理・気象学科 理学部 数理科学科	理学部 物理科学科	情報理工学部	生命科学部	アントレプレナーシップ学環
①	写真（データアップロード）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	（ア）志望理由書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	（イ）自己アピール書	○			○								
	（ウ）成果報告書 （中間経過報告書） （表紙のみ本学所定様式）						○ 出願要件 (1) △ 出願要件 (2)(3)					○ 出願要件 (1)	
	（エ）課題レポート （表紙のみ本学所定様式）								○				
	（オ）自らの成果や実績を証明できる添付資料 （一覧のみ本学所定様式）		△			△	△ 出願要件 (1) ○ 出願要件 (2)(3)	○	△ 出願要件 (1) ○ 出願要件 (2)	△	△	△ 出願要件 (1)	△
	（カ）活動実績報告書				○ (Bタイプ)								
	（キ）証明資料貼付用紙				○ (Bタイプ)								
	（ク）自作のハードウェアやソフトウェアなどの作品										○		
	（ケ）提出作品の説明書 （表紙のみ本学所定様式）										○		
	（コ）自己アピール動画 （データアップロード）												○

【注】1. ○印は必須提出とします。△印は任意提出とします。
2. 出願要件(1)(2)(3)については、「(E)各学部・学科・専攻・学環が定める事項」（P. 3 ～ 29）を確認してください。

⑹ 出願方法

「出願方法」（P. 57 ～ 63）を確認してください。

⑹ 受験票

「受験票」（P. 64）を確認してください。

⑴ 受験に関する注意事項等

「受験」（P. 65 ～ 66）を確認してください。

⑴ １次選考の日時および選考方法

経済学部、経営学部、法学部、現代社会学部、国際関係学部、文化学部、生命科学部（出願要件⑵学科試験型）

①選考日時　2025年9月21日（日）

学　部	選考方法	時　間
経　済　学　部	One Dayセミナー （模擬講義（約50分）および記述式テスト（60分））	10：00 ～
経　営　学　部	筆記試験（60分）	10：30 ～
法　学　部	小論文（90分）	10：30 ～
現代社会学部	「社会課題とリーダーシップ」セミナー （講義（約50分）およびレポート（40分））	10：00 ～
国際関係学部	One Dayセミナー （模擬講義（約50分）および記述式テスト（60分））	10：00 ～
文　化　学　部	One Dayセミナー （模擬講義（約50分）および記述式テスト（60分））	10：00 ～
生命科学部 （出願要件⑵学科試験型）	筆記試験（40分）	10：00 ～
	模擬講義（約40分）、振り返りレポート（45分）	11：10 ～

②選考方法　各学部・学科が定める選考方法により合否を決定します。詳細は、「⑻各学部・学科・専攻・学環が定める事項」（P. 3～ 29）で確認してください。

外国語学部、理学部、情報理工学部、生命科学部（出願要件⑴課題提出型）、アントレプレナーシップ学環

１次選考は書類選考とし、各学部・学科・学環が定める選考方法により合否を決定します。詳細は、「⑻各学部・学科・専攻・学環が定める事項」（P. 3 ～ 29）で確認してください。

⑹ ２次選考の出願方法

出願期間内に受験料（入学検定料）を納入してください。

※２次選考への出願は、受験料（入学検定料）の納入をもって完了とします。

① UCARO（合否照会ページ）より振込依頼書をダウンロード･印刷のうえ､振込依頼書の金額･学部（学環）・受験番号（整理番号の下６桁）・住所・氏名を確認し、電話番号を記入してください。

② 振込依頼書と領収書を切り離さずに金融機関（ゆうちょ銀行を除く）に持参し、振込依頼書の太枠内の打電を窓口で依頼のうえ、納入してください。

なお、振込依頼書に記載している銀行の本・支店から納入する場合、手数料は不要です。

③ ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。

④ 納入後、領収書を受け取り、取扱金融機関の収納印があることを確認し、大切に保管してください。

【注】一旦納入された受験料は、いかなる理由があっても返還しません。

⑿ ２次選考の日時および選考方法

①選考日時　2025年10月19日（日）

学部・学環		選考方法	時　　間
経　済　学　部		プレゼンテーション（約15分）	10：00 ～
経　営　学　部		個人面接（約15分）	10：00 ～
法　　学　　部		プレゼンテーション（約５分）＋質疑応答（約15分）	10：00 ～
現代社会学部		グループワーク・レポート（約75分）＋個人面接（約20分）	10：00 ～
国際関係学部		グループディスカッション（約60分）＋個人面接（約30分） （1午前2午後の２組に分けて実施します。）	1 10：00 ～ 2 13：45 ～
外国語学部		小論文（60分）	10：00 ～ 11：00
		個人面接（約30分）	13：00 ～
文　化　学　部		プレゼンテーション（約10分）＋質疑応答・個人面接（約20分）	10：00 ～
理学部	数理科学科	1筆記試験（30分）2個人面接（約40分）	1 10：00 ～ 2 11：00 ～
	物理科学科	1筆記試験（30分）2個人面接（約30分）	1 10：00 ～ 2 11：00 ～
	宇宙物理・気象学科	個人面接（約50分）	11：00 ～
情報理工学部		個人面接（約30分）	10：00 ～
生命科学部		出願要件⑴課題提出型　個人面接（約45分）	10：00 ～
		出願要件⑵学科試験型　個人面接（約30分）	10：00 ～
アントレプレナーシップ学環		個人面接（約20分）	10：00 ～

②選考方法　各学部・学科・学環が定める選考方法により合否を決定します。詳細は、「ⒺⒶ各学部・学科・専攻・学環が定める事項」（P. 3 ～ 29）で確認してください。

⒨ 合格発表

「合格発表」（P. 67）を確認してください。

⒩ 入学手続

「入学手続」（P. 67）を確認してください。また、入学金・学費などについては、「入学金・学費など」（P. 68 ～ 69）を確認してください。

⒪ 学習支援（入学前教育）

合格から入学までの約５ヶ月間は、スムーズに本学での学生生活に入ることができるよう、入学前教育として高等学校等の教育に支障がない範囲で、それぞれの合格者にマッチした学習支援を行います。詳細については、合格者に通知します。

⒫ 注意事項

⑴　出願資格において見込みの者が卒業もしくは修了、合格できなかった場合には、いかなる理由があっても入学許可を取り消します。

⑵　入学を許可された者が、入学までの期間に本学の入学予定者としてふさわしくない行動があった場合には、入学許可を取り消すことがあります。

⑶　出願書類および入学手続書類などに虚偽の記載および不正があった場合は、入学を取り消します。

2025年度　総合型選抜入試　入試結果統計

学部	学科（専攻）			志願者数	1次合格者数	最終合格者数
経済学部	経済学科			115	40	27
経営学部	マネジメント学科			77	39	28
法学部	法律学科			33	25	23
	法政策学科			15	12	10
現代社会学部	現代社会学科		Aタイプ	69	35	33
			Bタイプ	21	9	7
	健康スポーツ社会学科		Aタイプ	43	21	19
			Bタイプ	12	7	5
国際関係学部	国際関係学科			37	30	17
外国語学部（※）	英語学科			18	9	6
	ヨーロッパ言語学科	（ドイツ語専攻）		4	4	4
		（フランス語専攻）		4	4	4
		（スペイン語専攻）		2	2	1
		（イタリア語専攻）		4	4	1
		（ロシア語専攻）		2	2	2
		（メディア・コミュニケーション専攻）		1	1	1
	アジア言語学科	（中国語専攻）		6	6	5
		（韓国語専攻）		13	4	3
		（インドネシア語専攻）		6	5	4
		（日本語・コミュニケーション専攻）		3	3	3
文化学部（※）	京都文化学科			28	16	8
	国際文化学科			14	8	7
理学部	数理科学科			5	4	0
	物理科学科			2	2	2
	宇宙物理・気象学科			11	3	3
情報理工学部	情報理工学科			5	3	3
生命科学部（※）	先端生命科学科		課題提出型	7	3	1
			学科試験型	12	8	4
	産業生命科学科		課題提出型	1	1	1
			学科試験型	9	4	4
合計				579	314	236

【注】記載のない学部・学科（専攻）については、出願がありませんでした。

※上表は2025年度入試の募集人員に対するものです。

文化学部は2026年度より学科改組を行うため、学科構成が異なります。

2026年度入試から募集人員を増員しますので、それらのことを踏まえて参考にしてください。

〈募集人員の変更〉

●文化学部…約35名（2025年度入試の約20名から15名増員）

●生命科学部…約10名（2025年度入試の約６名から４名増員）

２．専門学科等対象公募推薦入試

⒜ 趣　旨

この制度は、専門高校、専門学科、総合学科で教育を受けた者またはそれに準ずる者を対象に、特別な選抜方法により正規の学生として迎え入れるための制度であり、あわせて、専門学科などで得た知識と経験を持つ学生を受け入れることによって、本学の活性化を図ろうとするものです。

⒝ 入試日程等

試験会場　京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

出願期間	2025年11月1日（土）10:00～11月10日（月）23:00
試験日	2025年11月29日（土）
合格発表日	2025年12月5日（金）

【注】1. 出願書類は締切日消印有効（海外からの場合は締切日必着）
2. 試験日の集合時間、場所などは、受験票に記載して通知します。
3. 不測の事態への対応については、P. 66 を確認してください。

⒞ 募集人員

学　部	学科	募集人員
経済学部	経済学科	10名
経営学部	マネジメント学科	20名
法学部	法律学科	7名
	法政策学科	3名
現代社会学部	現代社会学科	5名
	健康スポーツ社会学科	2名
国際関係学部	国際関係学科	3名
文化学部	文化構想学科	2名
	京都文化学科	2名
	文化観光学科	2名
理学部	数理科学科	若干名
	物理科学科	若干名
	宇宙物理・気象学科	若干名

学　部	学科（専攻）		募集人員
外国語学部	英語学科※	（英語専攻）（イングリッシュ・キャリア専攻）	全学科・専攻あわせて若干名
	ヨーロッパ言語学科	（ドイツ語専攻）	
		（フランス語専攻）	
		（スペイン語専攻）	
		（イタリア語専攻）	
		（ロシア語専攻）	
		（メディア・コミュニケーション専攻）	
	アジア言語学科	（中国語専攻）	
		（韓国語専攻）	
		（インドネシア語専攻）	
		（日本語・コミュニケーション専攻）	

【注】出願は、１つの学部、学科（専攻）に限ります。
※　外国語学部英語学科は学科で一括募集しますので、出願時に専攻は選択できません。専攻の分属については、本人の希望、履修状況などを加味して、１年次春学期末に決定し、１年次秋学期からそれぞれの専攻で学修していきます。

⒟ 出願資格・推薦要件

本学の教学の理念や教学内容に共鳴し、入学後の勉学について明確な志向と熱意を持つ者で、次の⑴⑵のいずれかに該当し、かつ⑶⑷を満たし、出身学校長から学業および人物が優れた志願者として推薦を受けた者

⑴　日本の専門高校、高等学校の専門学科または総合学科を2025年度に卒業した者および卒業見込みの者

⑵　韓国高等学校または朝鮮高級学校の専門学科または総合学科を2025年度に卒業した者および卒業見込みの者

【経営学部のみ⑴⑵共通】

上記の他、日本の高等学校、または朝鮮高級学校の普通科に在籍し、商業に関する単位を20単位以上修得した者または修得見込みの者で2025年度に卒業した者および卒業見込みの者

【注】韓国高等学校または朝鮮高級学校卒業見込みの者については、学校教育法施行規則第150条第７号の規定により、事前の入学資格審査を行います。出願する場合は、出願開始日の２週間前までに入学資格審査の申請が必要ですので、本学入試情報サイトで申請方法などを確認し、手続を行ってください。

URL https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/nagare/judge/

⑶ 【経済・経営・法・現代社会・国際関係・外国語・文化学部】
第１学年から第３学年１学期終了時（２学期制の場合は、第３学年における直近の成績を総合し、判定した成績）までの全体の学習成績の状況が4.0以上の者
＜国際関係・外国語・文化学部＞
上記に加えて、『外国語』における「英語」の学習成績の状況が4.0以上である者

【理学部】
第１学年から第３学年１学期終了時（２学期制の場合は、第３学年における直近の成績を総合し、判定した成績）までの全体の学習成績の状況が3.7以上の者
＜数理科学科＞
上記に加えて、『数学』について「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学Ａ」「数学Ｂ」「数学Ｃ」を履修し、それらすべての学習成績の状況の平均が3.7以上である者（※）
＜物理科学科、宇宙物理・気象学科＞
上記に加えて、『数学』について「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学Ａ」「数学Ｂ」「数学Ｃ」を履修し、かつ『理科』について「物理基礎」「物理」を履修し、それらすべての学習成績の状況の平均が3.7以上である者（※）

※各学科が示す科目名とは異なる科目名で履修している場合は、出願前に入学センターまで問い合わせてください。

⑷ 次の資格などのいずれか１つを取得し、学部が定める出願要件を満たす者

資格など ＼ 学部	経済学部	経営学部	法学部	現代社会学部	国際関係学部	外国語学部	文化学部	理学部
実用英語技能検定　準２級以上	○	○	○	○	○	○	○	○
全商英語検定　２級以上	○	○	○	○	○	○	○	○
TOEFL iBT®　42 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
TOEIC Bridge®　L&R　60 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
TOEIC Bridge®　L&R/S&W　129 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
TOEIC® L&R　380 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
TOEIC® L&R/S&W　625 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
国際連合公用語英語検定　Ｃ級以上			○	○	○	○	○	○
GTEC（4 技能版）　680 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
IELTS（アカデミック・モジュール）　4.0 以上	○	○	○	○	○	○	○	○
TEAP（４技能）　135 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
TEAP CBT　235 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
ケンブリッジ英語検定　ＫＥＴ　120 点以上	○	○	○	○	○	○	○	○
基本情報技術者	○	○	○	○			○	
全商情報処理検定　ビジネス情報部門１級	○	○	○	○			○	
全商情報処理検定　プログラミング部門１級	○	○	○	○			○	
全工情報技術検定　１級	○	○	○	○	○	○	○	
全工計算技術検定　１級	○	○	○	○	○	○	○	
日商簿記検定　２級以上	○	○	○	○				
全商簿記実務検定　１級	○	○	○	○				
実用数学技能検定　２級以上	○		○	○	○	○		○
実用理科技能検定　物理検定　１級	○		○	○		○		○

【注】 資格・スコアは出願期間の最終日の時点で、それぞれの資格・検定試験が定めている有効期間内のものだけを利用可能とします。
TOEFL iBT®は、Test Date Scoresに限る（「MyBest™ Scores」は利用不可）。
TOEIC® L&R/S&W は、S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。
TOEIC（Bridge含む）は、IPテスト・IPオンラインテストは除く。
GTEC（4技能版）は、オフィシャルスコアに限ります。
英検については、「デジタル証明書」のプレビュー画面をプリントアウトしたものでも可。

(E) 出願書類

以下の出願書類のうち③④は本学入試情報サイト（https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/）からダウンロードし、A4用紙に印刷したものを提出してください。

出願書類		注意事項
①写真（データアップロード）		出願前３ヶ月以内に撮影したもの。（カラーに限る、正面上半身脱帽、背景無地。適切な写真例については、P. 57 で確認してください。）
②調査書		文部科学省が定める様式により、学校長が出願前３ヶ月以内に作成し、厳封したもの。成績は各学年とも記入し、最終学年は１学期終了時（２学期制の場合は、第３学年における直近の成績を総合し、判定した成績）の成績を記入してください。
本学所定様式	③推薦書	本学所定様式を用い、学校長が作成し、厳封したもの。（裏面に、学部が定める出願要件を満たすと証明する資料のコピーを、必ず貼付すること。）
本学所定様式	④志望理由書	自筆で記入してください。(1,000字程度) 出願に至った動機、入学後に学びたい研究テーマ、活動実績、今後の発展性などについて記述してください。

【注】 1. 提出された資料は返却しません。
2. 本学所定様式以外の証明書などの添付資料は、必ずコピーを添付してください。
3. 健康診断書は提出不要です。入学後、全員に健康診断を行います。
4. 出願書類に虚偽があった場合、受験資格を失効とします。

(F) 出願方法

「出願方法」（P. 57 ～ 63）を確認してください。

(G) 受験票

「受験票」（P. 64）を確認してください。

(H) 受験に関する注意事項等

「受験」（P. 65 ～ 66）を確認してください。

(I) 試験科目・時間

学部・学科	試験科目	配点	時間
経済学部 経営学部 法学部 現代社会学部 国際関係学部 外国語学部 文化学部	小論文	100点	11：00 ～ 12：00（60分）
	面接		13：00 ～
理学部（数理科学科）	数学※1	100点	11：00 ～ 12：00（60分）
	面接		13：00 ～
理学部（物理科学科 宇宙物理・気象学科）	数学※2・物理※3	100点	11：00 ～ 12：00（60分）
	面接		13：00 ～

【注】経済学部、経営学部、法学部、国際関係学部、文化学部の「小論文」は学部別に出題します。
現代社会学部、外国語学部の「小論文」は学科（専攻）別に出題します。
理学部物理科学科、宇宙物理・気象学科の「数学・物理」は、学科別に出題します。
※１　数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ａ、数学Ｂ（数列）、数学Ｃ（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。
※２　数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ（数列）、数学Ｃ（ベクトル）を出題範囲とします。
※３　物理は、物理基礎と物理を出題範囲とします。

⑿ 判定方法
出願書類、筆記試験、小論文および面接により合否を判定します。

⒦ 合格発表
「合格発表」（P. 67）を確認してください。

⒧ 入学手続
「入学手続」（P. 67）を確認してください。また、入学金・学費などについては、「入学金・学費など」（P. 68 ～ 69）を確認してください。

⒨ 注意事項
⑴ 前記「⒟出願資格・推薦要件」（P. 34）を満たしていない者の推薦は受理しません。

⑵ 高等学校等を 2025 年度に卒業できなかった場合には、いかなる理由があっても入学許可を取り消します。

⑶ 専門学科等対象公募推薦により入学を許可された者が、入学までの期間に当該高等学校等の指導に従わない場合、また、本学の入学予定者としてふさわしくない行動があった場合には、入学許可を取り消すことがあります。

⑷ 出願書類および入学手続書類などに虚偽の記載および不正があった場合は、入学を取り消します。

⒩ 2025年度　入試結果統計

学部	学科（専攻）	志願者数	受験者数	合格者数
経済学部	経済学科	30	29	16
経営学部	マネジメント学科	69	68	33
法学部	法律学科	3	3	2
現代社会学部	現代社会学科	15	15	13
	健康スポーツ社会学科	3	3	2
国際関係学部	国際関係学科	2	2	2
外国語学部	英語学科	2	2	2
	アジア言語学科（韓国語専攻）	1	1	0
文化学部(※)	京都文化学科	3	3	2
	国際文化学科	1	0	0
理学部	宇宙物理・気象学科	1	1	1
合計		130	127	73

【注】記載のない学部・学科（専攻）については、出願がありませんでした。

※上表は2025年度入試の募集人員に対するものです。
文化学部は2026年度より学科改組を行うため、学科構成が異なります。そのことを踏まえて参考にしてください。

３．社会人入試

ⒶⒶ 趣　旨

この制度は、本学の教育方針を理解し、入学後の勉学について明確な志向と熱意を持ち、年齢に関わらず大学において学びたい意志のある社会人を対象として、特別な入学試験方法により社会人としての実績を評価し、正規の学生として迎え入れるための制度です。

（注）「社会人」とは、企業などの在籍者、離職者、主婦・主夫などで、本学において４年間にわたり勉学しようとする者をいいます。

ⒷⒷ 入試日程等

試験会場　京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

出願期間	2025年9月26日（金）10:00～10月2日（木）23:00
試験日	2025年10月18日（土）
合格発表日	2025年11月1日（土）

【注】1. 出願書類は締切日消印有効（海外からの場合は締切日必着）
2. 試験日の集合時間、場所などは、受験票に記載して通知します。
3. 不測の事態への対応については、P. 66 を確認してください。

ⒸⒸ 募集人員

学　部	学科	募集人員
経済学部	経済学科	各学部・学科とも若干名
経営学部	マネジメント学科	
法学部	法律学科	
	法政策学科	
現代社会学部	現代社会学科	
	健康スポーツ社会学科	
国際関係学部	国際関係学科	
文化学部	文化構想学科	
	京都文化学科	
	文化観光学科	

学　部	学科（専攻）		募集人員
外国語学部	英語学科※	（英語専攻）（イングリッシュ・キャリア専攻）	全学科とも若干名
	ヨーロッパ言語学科	（ドイツ語専攻）	
		（フランス語専攻）	
		（スペイン語専攻）	
		（イタリア語専攻）	
		（ロシア語専攻）	
		（メディア・コミュニケーション専攻）	
	アジア言語学科	（中国語専攻）	
		（韓国語専攻）	
		（インドネシア語専攻）	
		（日本語・コミュニケーション専攻）	

【注】出願は、１つの学部、学科（専攻）に限ります。
※　外国語学部英語学科は学科で一括募集しますので、出願時に専攻は選択できません。専攻の分属については、本人の希望、履修状況などを加味して、１年次春学期末に決定し、１年次秋学期からそれぞれの専攻で学修していきます。

ⒹⒹ 出願資格

2026年３月31日までに23歳に達する者で、次の各号のいずれかに該当する者

⑴　日本の高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年３月31日までに卒業見込みの者

⑵　日本の通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年３月31日までに修了見込みの者

⑶　学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年３月31日までにこれに該当する見込みの者

【注】上記⑶に該当する場合は、出願前に入学資格審査の申請が必要です。本学入試情報サイトで申請期間、申請方法などを確認し、出願開始日の2週間前までに手続を行ってください。

URL https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/nagare/judge/

(E) 出願書類

以下の出願書類のうち④⑤は本学入試情報サイト（https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/）からダウンロードし、A4 用紙に印刷したものを提出してください。

出　願　書　類		注　意　事　項
①写真（データアップロード）		出願前３ヶ月以内に撮影したもの。（カラーに限る、正面上半身脱帽、背景無地。適切な写真例については、P. 54 で確認してください。）
②調査書（または成績証明書）（原本）		文部科学省が定める様式により、学校長が出願前３ヶ月以内に作成し、厳封したものとします。 ※卒業後５年以上経過し、調査書（または成績証明書）が発行されない場合は「卒業証明書」および「単位修得証明書」を提出してください。 ※外国の高等学校を卒業（見込）の者は、当該高等学校の「卒業（見込）証明書」および在籍した期間の「成績証明書」を提出してください。
③卒業（見込）証明書		学校長が作成し厳封したものとします。高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者を含む）は、「合格証明書」または「合格成績証明書」を提出してください。
本学所定様式	④履歴書	(ア) 活動歴や資格などについて所定様式に書ききれない場合は、A4 サイズのレポート用紙（形式自由）を使用し、添付してください。 (イ) 資格などを記入した場合は、取得を説明できるもの（証明書のコピーなど）を添付してください。 【注】添付書類は、必ずホチキスで留めて添付してください。
本学所定様式	⑤志望理由書	自筆で記入してください。（1,000字程度） 出願に至った動機、入学後に学びたい研究テーマ、活動実績、今後の発展性などについて記述してください。

【注】 1. 健康診断書は提出不要です。入学後、全員に健康診断を行います。
2. 出願書類に虚偽があった場合、受験資格を失効とします。

(F) 出願方法

「出願方法」（P. 57 ～ 63）を確認してください。

(G) 受験票

「受験票」（P. 64）を確認してください。

(H) 受験に関する注意事項等

「受験」（P. 65 ～ 66）を確認してください。

(I) 試験科目・時間

学　　部	試験科目	配 点	時　　間
経済学部 経営学部 法学部 現代社会学部 国際関係学部 外国語学部 文化学部	小論文	100点	11：00～12：00（60分）
	面　　接		13：00～

【注】「小論文」は学部別に出題します。

⑴ 判定方法

出願書類、小論文および面接により合否を判定します。

⑽ 合格発表

「合格発表」（P. 67）を確認してください。

⑾ 入学手続

「入学手続」（P. 67）を確認してください。また、入学金・学費などについては、「入学金・学費など」（P. 68 ～ 69）を確認してください。

⒀ 注意事項

⑴ 出願資格において見込みの者が卒業もしくは修了できなかった場合には、いかなる理由があっても入学許可を取り消します。

⑵ 入学を許可された者が、入学までの期間に本学の入学予定者としてふさわしくない行動があった場合には、入学許可を取り消すことがあります。

⑶ 出願書類および入学手続書類などに虚偽の記載および不正があった場合は、入学を取り消します。

⒁ 2025年度　入試結果統計

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数
経営学部	マネジメント学科	1	1	0
外国語学部	アジア言語学科（韓国語専攻）	1	1	0

【注】記載のない学部・学科（専攻）については、出願がありませんでした。

４．帰国生徒入試

⒜ 趣　旨

この制度は、教育制度の異なる海外で教育を受けたために、将来性のある基礎能力を持ちながら一般の入学試験方法ではその能力が発揮できず、不利益をこうむると思われる帰国生徒を対象に、特別な入学試験方法により正規の学生として迎え入れるための制度であり、あわせて、海外での知識と経験を持つ学生を受け入れることによって、本学の活性化を図ろうとするものです。

⒝ 入試日程等

試験会場　京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

出願期間	2025年9月1日（月）10:00～9月8日（月）23:00
試験日	2025年10月18日（土）
合格発表日	2025年11月1日（土）

【注】1. 出願書類は締切日消印有効（海外からの場合は締切日必着）
2. 試験日の集合時間、場所などは、受験票に記載して通知します。
3. 不測の事態への対応については、P. 66 を確認してください。

⒞ 募集人員

学　部	学科（専攻）		募集人員
経済学部	経済学科		各学部・学科（専攻）とも若干名
経営学部	マネジメント学科		
法学部	法律学科		
	法政策学科		
外国語学部	英語学科※	（英語専攻）	
		（イングリッシュ・キャリア専攻）	
	ヨーロッパ言語学科	（ドイツ語専攻）	
		（フランス語専攻）	
		（スペイン語専攻）	
		（イタリア語専攻）	
		（ロシア語専攻）	
		（メディア・コミュニケーション専攻）	
	アジア言語学科	（中国語専攻）	
		（韓国語専攻）	
		（インドネシア語専攻）	
		（日本語・コミュニケーション専攻）	

学　部	学科	募集人員
現代社会学部	現代社会学科	各学部・学科とも若干名
	健康スポーツ社会学科	
国際関係学部	国際関係学科	
文化学部	文化構想学科	
	京都文化学科	
	文化観光学科	
理学部	数理科学科	
	物理科学科	
	宇宙物理・気象学科	
情報理工学部	情報理工学科	
生命科学部	先端生命科学科	
	産業生命科学科	

【注】出願は、１つの学部、学科（専攻）に限ります。
※　外国語学部英語学科は学科で一括募集しますので、出願時に専攻は選択できません。専攻の分属については、本人の希望、履修状況などを加味して、１年次春学期末に決定し、１年次秋学期からそれぞれの専攻で学修していきます。

⒟ 出願資格

日本の国籍を有する者または日本に永住する外国人（在留資格が「出入国管理及び難民認定法」別表第二に定める「永住者」）であって、日本または外国において正規の教育制度に基づく学校教育による12年の課程を修了または修了見込みの者で、大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有し、2026年3月31日までに18歳に達する者で、次のいずれかに該当する者

⑴　日本国外において、わが国の高等学校に相当する正規の教育機関に１年以上継続して在籍した者、もしくは中学校に相当する正規の教育機関に２年以上継続して在籍した者、または中学校と高等学校に相当する正規の教育機関に在籍した期間が合わせて２年以上の者（ただし、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている日本人学校などの在籍期間は算入しない）

⑵　外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者

⑶　国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者

⑷　本学における個別の入学資格審査により、上記の資格条件と同等以上の資格があると本学が認めた者

【注】１．出願資格の有無について不明な場合は、本学入学センターまで問い合わせてください。

２．上記（4）個別の入学資格審査を希望する場合、出願開始日の2週間前までに入学資格審査の申請が必要ですので、本学入試情報サイトで申請期間、申請方法等を確認し、手続を行ってください。

URL https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/nagare/judge/

(E)　出願書類

以下の出願書類のうち④は本学入試情報サイト（https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/）からダウンロードし、A4 用紙に印刷したものを提出してください。

出　願　書　類	注　意　事　項
①写真（データアップロード）	出願前３ヶ月以内に撮影したもの。（カラーに限る、正面上半身脱帽、背景無地。適切な写真例については、P. 57 で確認してください。）
②高等学校等の卒業（見込）証明書（または調査書）	㈠　日本国内の高等学校を卒業（見込）の者は調査書 ※文部科学省が定める様式により、学校長が出願前３ヶ月以内に作成し、厳封したものとします。 ㈡　日本国外の高等学校等を卒業（見込）の者は高等学校等の卒業（見込）証明書
③成績証明書	日本国外で在籍していた教育機関（日本の中学校・高等学校に相当するもの）における全期間の成績証明書を提出してください。
④身上票〔本学所定様式〕	学歴などについて、自筆で記入してください。
⑤パスポート（コピー）	氏名・生年月日、写真および在留資格・在留期間が記載されているページをA4サイズの用紙にコピーし提出してください。
[出願資格⑵で出願している場合] ⑥国家試験などの成績評価証明書	＜国際バカロレア資格取得者＞ IB最終試験6科目の成績評価証明書およびDiploma（コピー）を提出してください。 ＜アビトゥア資格取得者＞ 一般的大学入学資格証明書のコピーおよび成績評価証明書を提出してください。 ＜バカロレア資格取得者＞ バカロレア資格証明書のコピーおよびバカロレア資格試験成績証明書を提出してください。 ＜ＧＣＥ Ａレベルの資格取得者＞ ＧＣＥ試験の３科目以上の成績評価証明書（Resultsもしくは Certificate）を提出してください。
[日本に永住する外国人のみ] ⑦在留カード（コピー）	日本に永住する外国人の方については、永住者であることが証明できる箇所をA4サイズの用紙にコピーし提出してください。

【注】1.　出願書類はすべて原本（オリジナル）を提出してください。証明書の原本が１部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（Certified true copy）であることの証明を出身高等学校から受けたものを提出してください。

2.　英文または和文で記載されていない書類は、大使館などの翻訳証明付きの和訳も提出してください。

3.　健康診断書は提出不要です。入学後、全員に健康診断を行います。

4.　出願書類は返却しません。

5.　出願書類に虚偽があった場合、受験資格を失効とします。

6.　上記出願書類のほかに、本学が必要と認めた場合は、適宜必要書類の提出を求めることがあります。

(F) 出願方法

「出願方法」（P. 57 ～ 63）を確認してください。

(G) 受験票

「受験票」（P. 64）を確認してください。

(H) 受験に関する注意事項等

「受験」（P. 65 ～ 66）を確認してください。

(I) 試験科目・時間

学部（学科）	試験科目	配点	時間
経済学部 経営学部 法学部 現代社会学部 国際関係学部 文化学部	英語※1	100点	9：30～10：30（60分）
	小論文※2	100点	11：00～12：00（60分）
	面接		13：00～
外国語学部	外国語※1※3	100点	9：30～10：30（60分）
	小論文※2	100点	11：00～12：00（60分）
	面接		13：00～
理学部(数理科学科) 情報理工学部	英語※1	100点	9：30～10：30（60分）
	数学	100点	11：00～12：00（60分）
	面接		13：00～
理学部 (物理科学科 宇宙物理・気象学科)	英語※1	100点	9：30～10：30（60分）
	数学・物理	100点	11：00～12：00（60分）
	面接		13：00～
生命科学部	英語※1	100点	9：30～10：30（60分）
	生物または化学※4	100点	11：00～12：00（60分）
	面接		13：00～

※ 1.「英語」は、全学部同一問題とします。

※ 2. 経済学部、経営学部、法学部、現代社会学部、国際関係学部、外国語学部、文化学部の「小論文」は、同一問題とします（日本語で記述）。

※ 3. 外国語学部の「外国語」は、下表のとおりです。

学科・専攻		科目
英語学科		「英語」
ヨーロッパ言語学科	ドイツ語専攻	「英語」または「ドイツ語」から１言語を出願時に選択
	フランス語専攻	「英語」または「フランス語」から１言語を出願時に選択
	スペイン語専攻	「英語」または「スペイン語」から１言語を出願時に選択
	イタリア語専攻	「英語」または「イタリア語」から１言語を出願時に選択
	ロシア語専攻	「英語」または「ロシア語」から１言語を出願時に選択
	メディア・コミュニケーション専攻	「英語」
アジア言語学科	中国語専攻	「英語」または「中国語」から１言語を出願時に選択
	韓国語専攻	「英語」または「韓国語」から１言語を出願時に選択
	インドネシア語専攻	「英語」または「インドネシア語」から１言語を出願時に選択
	日本語・コミュニケーション専攻	「英語」

※ 4. 生命科学部の「生物」または「化学」は、出願時に選択します。

⑴ 判定方法

出願書類、筆記試験および面接により合否を判定します。

⑹ 合格発表

「合格発表」（P. 67）を確認してください。

⑺ 入学手続

「入学手続」（P. 67）を確認してください。また、入学金・学費などについては、「入学金・学費など」（P. 68 ～ 69）を確認してください。

⑻ 注意事項

⑴ 出願資格において修了見込みの者が修了できなかった場合には、いかなる理由があっても入学許可を取り消します。

⑵ 入学を許可された者が、入学までの期間に本学の入学予定者としてふさわしくない行動があった場合には、入学許可を取り消すことがあります。

⑶ 出願書類および入学手続書類などに虚偽の記載および不正があった場合は、入学を取り消します。

⑼ 2025年度　入試結果統計

学部	学科（専攻）	志願者数	受験者数	合格者数
現代社会学部	現代社会学科	2	2	1
国際関係学部	国際関係学科	2	2	2
文化学部	京都文化学科	1	0	0
理学部	物理科学科	1	0	0
情報理工学部	情報理工学科	2	2	0
合計		8	6	3

【注】記載のない学部・学科（専攻）については、出願がありませんでした。

5．外国人留学生入試［前期］［後期］

(A) 趣旨

この制度は、本学の１年次に入学を希望する外国人のために、一般の入学試験とは別に実施する試験です。入学の時期は４月とし、外国語科目以外の講義は概ね日本語で行いますので、大学の講義を理解できる程度の日本語の能力が必要となります。

(B) 入試日程等

試験会場　京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

	［前期］	［後期］
出願期間	2025年9月1日（月）10:00 ～9月8日（月）23:00	2025年12月5日（金）10:00 ～12月15日（月）23:00
試験日	2025年10月18日（土）	2026年1月11日（日）
合格発表日	2025年11月1日（土）	2026年1月16日（金）

【注】1. 出願書類は締切日消印有効（海外からの場合は締切日必着）
2. 試験日の集合時間、場所などは、受験票に記載して通知します。
3. 不測の事態への対応については、P. 66 を確認してください。

(C) 募集人員

［前期］と［後期］の合計の募集人員です。

学　部	学科（専攻）	募集人員
経済学部	経済学科	3学部合計で12名
経営学部	マネジメント学科	
法学部	法律学科	
	法政策学科	
外国語学部	英語学科※（英語専攻）（イングリッシュ・キャリア専攻）	全学科（専攻）とも若干名
	ヨーロッパ言語学科（ドイツ語専攻）	
	（フランス語専攻）	
	（スペイン語専攻）	
	（イタリア語専攻）	
	（ロシア語専攻）	
	（メディア・コミュニケーション専攻）	
	アジア言語学科（中国語専攻）	
	（韓国語専攻）	
	（インドネシア語専攻）	
	（日本語・コミュニケーション専攻）	

学　部	学科	募集人員
現代社会学部	現代社会学科	各学部・学科とも若干名
	健康スポーツ社会学科	
国際関係学部	国際関係学科	
文化学部	文化構想学科	
	京都文化学科	
	文化観光学科	
理学部	数理科学科	
	物理科学科	
	宇宙物理・気象学科	
情報理工学部	情報理工学科	
生命科学部	先端生命科学科	
	産業生命科学科	

【注】出願は、１つの学部、学科（専攻）に限ります。
※　外国語学部英語学科は学科で一括募集しますので、出願時に専攻は選択できません。専攻の分属については、本人の希望、履修状況などを加味して、１年次春学期末に決定し、１年次秋学期からそれぞれの専攻で学修していきます。

(D) 出願資格

次の(1)～(5)のすべてに該当する者

(1) 外国籍を有する者
(2) 2026年3月31日までに18歳に達する者
(3) 日本の学校教育制度における就学期間が通算３年以内の者
(4) 次の①～⑤のいずれかに該当する者（ただし、①②および④において12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程または研修施設の課程を修了した者）
　① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
　② 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格または合格見込みの者
　③ 外国において、文部科学大臣が指定する11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
　④ 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者

⑤　本学における個別の入学資格審査により、⑷の①～④と同等以上の資格があると本学が認めた者

⑸　日本学生支援機構が主催する2024年度または2025年度日本留学試験の『日本語』を受験した者。
ただし、理学部数理科学科および情報理工学部を志望する者については、『日本語』に加え、『数学（コース２）』を受験した者。理学部物理科学科および宇宙物理・気象学科を志望する者については、『日本語』に加え、『数学（コース２）』および『物理』を受験した者。生命科学部を志望する者については、『日本語』に加え、『生物』または『化学』を受験した者

【注】１．出願資格の有無について不明な場合は、本学入学センターまで問い合わせてください。
２．上記（4）の⑤の個別の入学資格審査を希望する場合、出願開始日の2週間前までに入学資格審査の申請が必要ですので、本学入試情報サイトで申請期間、申請方法等を確認し、手続を行ってください。

URL https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/exam/nagare/judge/

⑹　出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

やむを得ない事情により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず事前に本学入学センターまで連絡してください。連絡なく、出願締切日の段階で全ての出願書類が揃っていない場合、受験を認めることができません。

以下の出願書類のうち②～⑥は本学入試情報サイト（https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/）からダウンロードし、A4 用紙に印刷したものを提出してください。

出　願　書　類		注　意　事　項
①写真（データアップロード）		出願前３ヶ月以内に撮影したもの。（カラーに限る、正面上半身脱帽、背景無地。加工、補正はしないでください。） 適切な写真例については、P. 57 で確認してください。
本学所定様式	②志望理由書	・必ず本人が記入してください。（1,000 字程度） 出願に至った動機、入学後に学びたい研究テーマ、活動実績、今後の発展性などについて記述してください。
	③「日本留学試験」成績確認書（または受験票）のコピー貼付用紙	・日本留学試験の『日本語』（学部により『数学（コース２）』『物理』『化学』『生物』）の成績を合否判定に利用しますので、貼付用紙に記載している回の日本留学試験のうち、成績利用を希望する回の**成績確認書（または受験票）のコピーを１枚だけ**貼り付けてください。 ＜【後期のみ】成績利用を希望する回の変更について＞ 日本留学試験 2025 年度第 2 回の成績確認後、成績を利用する回の変更を希望する場合、［12 月 19 日（金）10：00］までに電話にて入学センターへ連絡してください。（入学センター：075－705－1437）
	④入学願書・履歴書	・必ず本人が日本語で記入してください。 ・本国での住所、学歴などを記入し、必ず「出願者の署名」「記入日」を記入してください。 ・**必ず写真**を貼り付けてください。 ・写真は出願前３ヶ月以内に撮影したもの。（縦 4cm× 横 3cm、カラーに限る、正面上半身脱帽、背景無地） ・貼付する写真の裏面には、氏名・出願番号を記入してください。
	⑤推薦書	・日本語学校または出身高等学校などに日本語または英語で**記入および厳封**を依頼してください。
	⑥日本語能力認定書	・日本語学校講師または日本政府在外公館員などに日本語で**記入および厳封**を依頼してください。
⑦高等学校等の成績証明書（原本）		・出身高等学校の証明書の原本（証書は不可）を提出してください。 ・高等学校卒業後、専修学校や大学へ進学した場合も、**高等学校全学年の証明書の原本を必ず提出してください。** ・コピーは受け付けません。 ただし、中国からの留学生については、公証書でも受け付けます。 ・当該国で学力認定試験に合格（見込）の者は、認定試験の成績証明書および合格（見込）証明書を提出してください。 ・**提出された証明書の原本は原則返却しません。** ・日本語または英語以外の言語で書かれている場合は、日本語学校や大使館、翻訳会社などによる「日本語の訳文」をつけてください。 なお、この訳文には**原文と訳文との内容に相違がないという翻訳の証明（公印付のもの・コピー不可）**が必要です。
⑧高等学校等の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書（原本）		

出　願　書　類	注　意　事　項
[該当者のみ] ⑨準備教育課程修了(見込)証明書（原本）	・大学入学までの通常の教育課程が12年未満の外国の学校を修了した者で、文部科学大臣が指定した日本の大学に入学するための準備教育課程を修了した者（修了見込みの者を含む）は、提出が必要です。
⑩住民票の写し（原本）	・日本国内に３ヶ月を超えて在留する中長期在留者のみ提出してください。 ・市役所（区役所）で発行されたものであり、在留カード番号、在留資格、在留期間が記載されているもの。また、受験時においては在留期間が有効期限内であるものとします。（ビザを更新された方は更新後のものを提出してください。） なお、在留期間の有効期限が切れている場合、「在留期間更新中」であると分かる書類（例：在留カードの表面と裏面のコピーなど）および更新後の住民票を提出できる日を明記した「メモ」を封入してください。更新した書類は、**試験日まで**に早急に入学センターに郵送してください。
⑪パスポート（コピー）	・「**顔写真のページ」を A4 サイズの用紙にコピー**し提出してください。
[海外から送金した場合のみ] ⑫受験料（入学検定料）の払込受領書（写真もしくはPDF をメールにて提出）	・受験料（入学検定料）を**UCAROを経由せずに海外から送金した場合のみ**必要です。 送金後、直ちに払込受領書に出願番号(6桁)※と氏名を記入し、入学センター（info-adm@star.kyoto-su.ac.jp）宛にメールで送信してください。 なお、メールの件名は「受験料の海外送金の連絡（出願番号※・氏名)」としてください。 ※出願番号は、インターネット出願「出願登録完了」画面に表示されます。詳しくは P. 61 で確認してください。

【注】1. 出願書類提出後における出願学部・学科（専攻）および日本留学試験の成績を利用する回の変更はできません。
2. 健康診断書は提出不要です。入学後、全員に健康診断を行います。
3. 出願書類は返却しません。
4. 出願書類に虚偽があった場合、受験資格を失効とします。
5. 上記出願書類のほかに、本学が必要と認めた場合は、適宜必要書類の提出を求めることがあります。

(F) 出願方法
「出願方法」（P.57 ～ 63）を確認してください。

(G) 受験票
「受験票」（P. 64）を確認してください。

(H) 受験に関する注意事項等
「受験」（P. 65 ～ 66）を確認してください。

(I) 試験科目・時間

経済学部、経営学部、法学部、現代社会学部

試験科目	配点	時　　間
日　本　語※1		
小　論　文※2	100	11：00～12：00(60分)
面　　接		13：00～

国際関係学部、外国語学部、文化学部

試験科目	配点	時　　間
日　本　語※1		
英　　語※3	100	11：00～12：00(60分)
面　　接		13：00～

理学部（数理科学科）

試験科目	配点	時　　間
日　本　語※1		
数学(コース2)※1		
数　　学※4	150	11：00～12：00（60分)
面　　接		13：00～

理学部（物理科学科、宇宙物理・気象学科）

試験科目	配点	時　　間
日　本　語※1		
数学(コース2)※1		
物　　理※1		
数　　学※4	150	11：00～12：00（60分)
面　　接		13：00～

情報理工学部

試験科目	配点	時　　間
日　本　語※1		
数学(コース2)※1		
数　　学	200	11：00～12：00（60分)
面　　接		13：00～

生命科学部

試験科目	配点	時　　間
日　本　語 ※1		
生物または化学※1		
英　　語 ※3	100	11：00～12：00(60分)
面　　接		13：00～

※1 各学部とも『日本語』については、日本留学試験（『日本語』における記述、読解、聴読解、聴解のすべての領域）の成績を利用します。また、理学部数理科学科および情報理工学部の『数学（コース２）』、理学部物理科学科および宇宙物理・気象学科の『数学（コース２）』および『物理』、生命科学部の『生物』または『化学』についても、日本留学試験の成績を利用します。（生命科学部のみ２科目とも受験している場合は、高得点の科目の成績を利用します。）
※2 経済学部、経営学部、法学部、現代社会学部の「小論文」は、学部別に出題します。
※3 国際関係学部、外国語学部、文化学部、生命科学部の「英語」は、同一問題とします。
※4 理学部数理科学科、物理科学科、宇宙物理・気象学科の「数学」は、同一問題とします。

⑴ 判定方法
出願書類、筆記試験、日本留学試験の成績および面接により合否を判定します。

⑹ 合格発表
「合格発表」（P. 67）を確認してください。

⑺ 入学手続
「入学手続」（P. 67）を確認してください。また、入学金・学費などについては、「入学金・学費など」（P. 68 ～ 69）を確認してください。

⑻ 在留資格
合格者は入学後も「留学」などの在留資格を維持しなければなりません。また、大学に合格しただけでは在留資格の更新や維持の保証はできません。在留資格が維持できなければ、入学取消となる場合があります。在留資格について、「留学」の期間更新などに不安のある方は、出願する前に地方出入国在留管理官署で確認してください。

日本国外在住の（在留資格を持っていない）場合

留学生として日本へ入国する為には、「留学」の在留資格を取得する必要があります。在留資格を取得するためには、法務省大阪出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」の交付申請を行い、「在留資格認定証明書」の交付を受けた後、在外日本国公館で査証（留学ビザ）を申請するのが一般的です。第２次入学手続きが完了した日本国外在住の出願者で、経費支弁者や親族などの代理人が日本国内にいない場合、本学が在留資格認定証明書を代理で申請・取得します（在留資格認定証明書の取得には、４～６週間必要です）。

詳細な手続きについては、UCAROにて合格者向けに掲載する「入学手続要領」を確認してください。

なお、他の大学等からも入学許可を受けた場合、「在留資格認定証明書」の交付申請が重複しないように注意してください。

【注】1. 在留資格認定証明書取得の審査は法務省が、査証取得の審査は外務省が行う為、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。
2. 本学は在留資格の資格変更や期間更新、また「留学」以外の査証取得のためのサポートなどは行いません。

「留学」以外の在留資格（定住者や家族滞在など）で日本に滞在している場合

「家族滞在」「定住者」などの在留資格保有者は、特に手続きの必要はありません。ただし、授業料減免など、外国人留学生を対象とした優遇を受ける事を希望する場合、2026年３月末日の時点ですでに在留資格の変更申請を完了し「留学」を保有している、または、変更の申請中である必要があります。
（在留資格を「留学」に変更した場合、日本学生支援機構の奨学金を利用できなくなる可能性があるためご注意ください）

詳細な手続きについては、UCAROにて合格者向けに掲載する「入学手続要領」を確認してください。

なお、「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできません。

「短期滞在」の在留資格保持者は、新規で「留学」の在留資格を申請する必要があります。日本国内での「短期滞在」から「留学」への在留資格変更は原則としてできません。

⒩ 授業料減免・学外奨学金

本学への入学後、在留資格が「留学」である外国人留学生を対象とした優遇措置があります。
なお、在留資格が「家族滞在」「定住者」など「留学」以外の場合、本学への入学は可能ですが、外国人留学生を対象とした授業料減免・各種奨学金などは、対象外となります。

⑴ 授業料減免

新入年次から4年次

名　　称	京都産業大学私費外国人留学生授業料減免
減 免 額	１学期間の授業料の40％相当額
対 象 者	私費外国人留学生
採用期間	１学期間（次学期の再申請可）

【注】1. 在留資格が「留学」の者に限ります。
2. 対象となる期間は、最短修業年限とします。
3. 所定の期間に「申請書」を提出しなければなりません。

⑵ 学外奨学金

日本学生支援機構、地方公共団体、また民間団体から毎年募集があり、入学後に公募し、大学を通じて推薦しています。大学を通さず直接応募できる奨学金もあります。

外国人留学生対象奨学金募集状況（過年度参考　一部抜粋）

名　　称	奨学金額（学部生）
公益財団法人　京都市国際交流協会張鳳俊奨学基金奨学金	月額　　5万円
留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費）	月額　4万8千円
公益財団法人　ロータリー米山記念奨学会奨学金	月額　　10万円
公益財団法人　平和中島財団外国人留学生奨学金	月額　　12万円
公益信託　川嶋章司記念スカラーシップ基金奨学金	月額　　12万円
公益財団法人　日本国際教育支援協会JEES留学生奨学金(修学)	月額　　4万円
一般財団法人　共立国際交流奨学財団奨学金	月額　　10万円

⒪ 居住施設

本学では外国人留学生のための「国際交流会館（International House：I-House）」を設置しています。会館の規則を守り、共同生活を営むことができる学生および国際交流イベントや交換留学生との交流に積極的に参加・協力できる学生が入寮対象となり、書類および面接選考により、入居を決定しています（部屋の空き状況により、募集しない場合があります）。

会館は大学から歩いて約７分、鉄筋コンクリート４階建てで緑に囲まれた環境の中にあります。部屋は洋室で１室あたりの床面積は約25㎡、専用設備として、バス・トイレ・キッチン、共同設備として、キッチンルーム、ミーティングルームや和室を設置しています。なお、入寮期間は１年間です。

また、会館にはI-Houseアシスタントとして日本人学生も居住し、日本文化を身近に体験することができます。

タイプ	入寮費（入寮時に納入）	月額舎費	電気・水道料金
1人部屋	30,000円	38,000円	舎費に含む

【注】詳細については、UCAROにて合格者向けに掲載する「入学手続要領」をご確認ください。

⒫ 注意事項

⑴ 出願資格において見込みの者が修了もしくは卒業できなかった場合には、いかなる理由があっても入学許可を取り消します。

⑵ 入学を許可された者が、入学までの期間に本学の入学予定者としてふさわしくない行動があった場合には、入学許可を取り消すことがあります。

⑶ 出願書類および入学手続書類などに虚偽の記載および不正があった場合は、入学を取り消します。

⑵ 2025年度　入試結果統計

［前期］

学部	学科（専攻）		志願者数	受験者数	合格者数
経済学部	経済学科		17	15	6
経営学部	マネジメント学科		23	21	6
法学部	法律学科		3	3	0
	法政策学科		3	3	1
現代社会学部	現代社会学科		30	28	10
	健康スポーツ社会学科		2	2	1
国際関係学部	国際関係学科		5	4	2
外国語学部	ヨーロッパ言語学（イタリア語専攻）		1	1	1
	言語学科 アジア	（韓国語専攻）	2	1	0
		（日本語・コミュニケーション専攻）	7	5	4
文化学部(※)	京都文化学科		1	1	1
理学部	数理科学科		5	4	1
	物理科学科		1	1	0
	宇宙物理・気象学科		1	0	0
情報理工学部	情報理工学科		18	13	0
生命科学部	先端生命科学科		12	11	3
	産業生命科学科		7	7	2
合計			138	120	38

［後期］

学部	学科（専攻）		志願者数	受験者数	合格者数
経済学部	経済学科		24	20	6
経営学部	マネジメント学科		26	18	7
法学部	法律学科		7	7	0
	法政策学科		8	7	2
現代社会学部	現代社会学科		48	41	15
	健康スポーツ社会学科		1	1	1
国際関係学部	国際関係学科		17	14	6
外国語学部	英語学科		1	0	0
	言語学科 ヨーロッパ	（ドイツ語専攻）	1	0	0
		（メディア・コミュニケーション専攻）	3	3	3
	アジア言語学科（日本語・コミュニケーション専攻）		7	6	4
文化学部(※)	京都文化学科		2	2	1
	国際文化学科		1	1	1
理学部	数理科学科		11	6	1
	物理科学科		7	6	0
	宇宙物理・気象学科		4	4	0
情報理工学部	情報理工学科		29	22	2
生命科学部	先端生命科学科		9	7	1
	産業生命科学科		4	4	1
合計			210	169	51

【注】記載のない学部・学科（専攻）については、出願がありませんでした。

※上表は2025年度入試の募集人員に対するものです。
文化学部は2026年度より学科改組を行うため、学科構成が異なります。そのことを踏まえて参考にしてください。

６．編・転入試

ⒶⒶ 趣旨

本制度は、他の教育機関において課程を修了した（修了見込みまたは在学中を含む）者で、さらに本学において勉学を継続しようとする意欲ある者を対象として、特別な入学試験により正規の学生として迎え入れるための制度です。

ⒷⒷ 入試日程等

試験会場　京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

出願期間	2025年9月26日（金）10:00～10月2日（木）23:00
試験日	2025年10月18日（土）
合格発表日	2025年11月1日（土）

【注】1. 出願書類は締切日消印有効（海外からの場合は締切日必着）
2. 試験日の集合時間、場所などは、受験票に記載して通知します。
3. 不測の事態への対応については、P. 66 を確認してください。

ⒸⒸ 募集人員

学　部	学科	募集年次	募集人員
経済学部	経済学科	3年次	15名
経営学部	マネジメント学科		15名
法学部	法律学科		10名
	法政策学科		5名
現代社会学部	現代社会学科	2年次	各学部・学科とも若干名
	健康スポーツ社会学科		
文化学部	京都文化学科※1	3年次	
	国際文化学科		
理学部	数理科学科		
	物理科学科		
情報理工学部※3	情報理工学科	2年次	
		3年次	

学　部	学科（専攻）		募集年次	募集人員
外国語学部※2	英語学科	（英語専攻）	3年次	全学科（専攻）とも若干名
	ヨーロッパ言語学科	（ドイツ語専攻）		
		（フランス語専攻）		
		（スペイン語専攻）		
		（イタリア語専攻）		
		（ロシア語専攻）		
	アジア言語学科	（中国語専攻）		
		（韓国語専攻）		
		（インドネシア語専攻）		

【注】出願は、１つの学部、学科（専攻）に限ります。
※１　京都文化学科には、「京都文化コース」、「観光文化コース」、「英語コミュニケーションコース」があり、出願前に希望するコースの出願資格確認を行いますので、出願の際はいずれかのコースで出願することとなります。
※２　英語学科イングリッシュキャリア専攻、ヨーロッパ言語学科メディア・コミュニケーション専攻、アジア言語学科日本語・コミュニケーション専攻は募集しません。
※３　情報理工学部は、事前審査の結果により、ご希望の年次とは異なる年次への出願となる場合があります。

ⒹⒹ 出願資格

次の⑴から⑸のいずれかに該当する者。ただし、外国語学部英語学科英語専攻は、⑴から⑸のいずれかに該当し、かつ⑹を満たす者

⑴　日本の大学に２年以上在学し62単位以上修得した者または2026年3月修得見込みの者。ただし、本学の学籍を有している者は除く

【現代社会学部への出願者については、以下に該当する者】

日本の大学に１年以上在学し30単位以上修得した者または2026年３月修得見込みの者。ただし、本学の学籍を有している者は除く

⑵　日本の短期大学を卒業した者または2026年3月卒業見込みの者

⑶　日本の高等専門学校を卒業した者または2026年3月卒業見込みの者

⑷　専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者または2026年3月修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条第１項に規定する大学入学資格を有する者に限る

【注】「文部科学大臣の定める基準を満たす課程」とは、修業年限が２年以上で、かつ課程の修了

に必要な総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものとする。この基準を満たしているかどうかが不明な場合は、在籍または修了の専修学校に確認すること。

⑸ 高等学校（中等教育学校の後期課程および特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者または2026年３月修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条第１項に規定する大学入学資格を有する者に限る

【注】「文部科学大臣の定める基準を満たす課程」とは、修業年限が２年以上で、かつ課程の修了に必要な総単位数その他の事項が基準を満たすものとする。この基準を満たしているかどうかが不明な場合は、在籍または修了の高等学校に確認すること。

⑹ 【外国語学部英語学科英語専攻への出願者のみ】
出願時に、出願する日から過去６ヵ月以内に受験したTOEFL® のスコア(ITPも可)を提出できる者

【注】1. 外国語学部、文化学部は、出願資格確認期間内に出願資格の有無などを確認しなければ、出願できません。（詳細は下記参照）

2. 理学部、情報理工学部は、出願資格審査期間内に審査（系列･分野照合）を受けなければ、出願できません。（詳細は下記参照）

◆出願資格などの確認について

外国語学部、文化学部、理学部、情報理工学部は、**出願前に必ず出願資格などの確認が必要です。**下記の内容を確認し、各学部事務室まで問い合わせてください。

【注】「編・転入試の出願資格の確認について」と申し出てください。

学　部	確　認　内　容
外国語学部	同系列（分野）またはそれに準じる大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の学科および高等学校等の専攻科出身者を対象に募集します。したがって、在籍または卒業の大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校等の専攻科の学科と、外国語学部の各学科・専攻との系列（分野）照合を行いますので、**出願資格確認期間〈2025年7月28日（月）～ 8月25日（月）〉に必ず外国語学部事務室まで問い合わせてください。** なお、照合には、単位修得（見込）を証明する書類・シラバスなどが必要になりますので、あらかじめ準備してください。
文化学部	在籍または卒業の大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校等の専攻科での履修科目および修得科目の内容と、文化学部開講科目・卒業要件との照合を行いますので、**出願資格確認期間〈2025年7月28日(月)～8月25日(月)〉に必ず文化学部事務室まで問い合わせてください。** なお、照合には、単位取得(見込)を証明する書類・シラバス等と併せて「2026 年度編・転入試文化学部出願資格確認申請書」が必要になります。「2026年度編・転入試文化学部出願資格確認申請書」については、文化学部事務室まで問い合わせてください。 〈京都文化学科英語コミュニケーションコースに出願する場合〉 上記の書類に加え、次の２点を提出してください。 ・次の英語資格等試験のうち、いずれかのスコア（原本とコピー）もしくは合格通知書（原本とコピー） ①TOEFL®(PBT) ②TOEFL®(iBT) ③TOEIC® ④実用英語技能検定(英検) ・出願資格とする⑴から⑸の出身学校において、在学期間中に長期留学を行ったことを証する書類の写し（留学先大学等の修了証、成績表等）

学　部	確　認　内　容
理　学　部	同系列（分野）またはそれに準じる大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の学科および高等学校等の専攻科出身者を対象に募集しますので、異なる系列（分野）からは出願できません。このため、出願前に在籍または卒業の大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校等の専攻科での履修科目および修得科目の内容と、希望する学科の開講科目とを照合し、**出願資格審査を行いますので、出願資格審査期間〈2025年7月28日（月）～8月25日（月）〉に必ず理学部事務室まで問い合わせてください。** なお、出願資格審査には、単位修得（見込）を証明する書類・シラバスなどが必要になりますので、あらかじめ準備してください。
情報理工学部	同系列（分野）またはそれに準じる大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の学科および高等学校等の専攻科出身者を対象に募集しますので、異なる系列（分野）からは出願できません。このため、出願前に在籍または卒業の大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校等の専攻科での履修科目および修得科目の内容と、情報理工学部の開講科目とを照合し、**出願資格審査を行いますので、出願資格審査期間〈2025年7月28日(月)～8月25日(月)〉に必ず情報理工学部事務室まで問い合わせてください。** なお、出願資格審査には、単位修得（見込）を証明する書類・シラバスなどが必要になりますので、あらかじめ準備してください。

問い合わせ先

受付時間　平日 9：00～16：30　　（土・日・祝日および8月10日（日）～ 8月19日（火）は休業）

●単位認定について

経済学部事務室	TEL. 075－705－1452	外国語学部事務室	TEL. 075－705－1461
経営学部事務室	TEL. 075－705－1454	文化学部事務室	TEL. 075－705－1941
法学部事務室	TEL. 075－705－1458	理学部事務室	TEL. 075－705－1463
現代社会学部事務室	TEL. 075－705－1724	情報理工学部事務室	TEL. 075－705－1989

●教職課程の履修や教員免許状の取得について

共通教育推進機構（教職課程教育担当）TEL. 075－705－1479

(E) 出願書類

以下の出願書類のうち③⑤は本学入試情報サイト（https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions/）からダウンロードし、A4 用紙に印刷したものを提出してください。

出　願　書　類	注　意　事　項
①写真（データアップロード）	出願前３ヶ月以内に撮影したもの。（カラーに限る、正面上半身脱帽、背景無地。適切な写真例については、P.57で確認してください。）
②成績証明書および卒業（見込）証明書 （出身学校長が作成し、厳封したもの）	(ア) 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校の専門課程・高等学校等の専攻科を卒業（見込）の者は、「成績証明書」および「卒業（見込）証明書」を提出してください。 (イ) 大学在学者で「卒業見込証明書」が発行されない場合は、「在学（期間）証明書」を提出してください。 (ウ) 大学在学者で62単位以上を修得した成績証明書のない者は、「成績証明書」のほかに「単位修得見込証明書」または「履修証明書」などの単位修得見込みが証明できるものを提出してください。 【現代社会学部への出願者のみ】 大学在学者で30単位以上を修得した成績証明書のない者は、「成績証明書」のほかに「単位修得見込証明書」または「履修証明書」などの単位修得見込みが証明できるものを提出してください。

出　願　書　類	注　意　事　項
③志望理由書〔本学所定様式〕	自筆で記入してください。（1,000字程度） 出願に至った動機、入学後に学びたい研究テーマ、活動実績、今後の発展性などについて記述してください。
[外国語学部英語学科英語専攻への出願者のみ] ④TOEFL®のスコアカードの原本とコピー	出願する日から６ヵ月以内に受験したTOEFL®(ITPも可)のスコアカード（原本とコピー）を必ず提出してください。 ※原本は試験当日に返却します。
[専修学校の専門課程または高等学校等の専攻科の課程修了（見込）者のみ] ⑤出願資格証明書〔本学所定様式〕	専修学校の専門課程または高等学校等の専攻科の課程を修了（見込）の者は、出身学校長が作成した出願資格証明書を必ず提出してください。

【注】1. 健康診断書は提出不要です。入学後、全員に健康診断を行います。
2. 出願書類に虚偽があった場合、受験資格を失効とします。

(F) 出願方法

「出願方法」(P. 57 ～ 63) を確認してください。

(G) 受験票

「受験票」(P. 64) を確認してください。

(H) 受験に関する注意事項等

「受験」(P. 65 ～ 66) を確認してください。

(I) 試験科目・時間

《3年次への編・転入学》

学部・学科		試験科目	配点	時間
経済学部	経済学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50 (80分)
		専門基礎 ①経済学(ミクロ・マクロ理論)の初歩的な問題 ②経済の時事問題に関する小論文	100点	11：20～12：40 (80分)
		面接		14：00～
経営学部	マネジメント学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50 (80分)
		専門基礎 (経営学の基礎知識を問う問題)	100点	11：20～12：40 (80分)
		面接		14：00～
法学部	法律学科 法政策学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50 (80分)
		専門基礎 (法学に関する基礎的な問題)	100点	11：20～12：40 (80分)
		面接		14：00～
外国語学部	英語学科 ヨーロッパ言語学科 アジア言語学科	外国語 (各学科・専攻の専攻語学)	100点	9：30～10：50 (80分)
		専門分野の小論文 (日本語で記述)	50点	11：20～12：20 (60分)
		面接		14：00～

学部・学科		試験科目	配点	時間
文化学部	京都文化学科 国際文化学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50（80分）
		小論文 （文化の理解に関する問題）	100点	11：20～12：40（80分）
		面接		14：00～
理学部	数理科学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50（80分）
		数学 （微分積分、線形代数および集合の基礎から出題）	200点	11：20～12：40（80分）
		面接		14：00～
	物理科学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50（80分）
		物理 （力学、電磁気学および熱力学から出題）	100点	11：20～12：40（80分）
		面接		14：00～
情報理工学部	情報理工学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50（80分）
		専門基礎 （微分積分、線形代数、コンピュータ基礎から出題）	100点	11：20～12：40（80分）
		面接		14：00～

《2年次への編・転入学》

学部・学科		試験科目	配点	時間
現代社会学部	現代社会学科 健康スポーツ社会学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50（80分）
		小論文 （社会学の理解に関する問題）	100点	11：20～12：40（80分）
		面接		14：00～
情報理工学部	情報理工学科	外国語（英語）	100点	9：30～10：50（80分）
		専門基礎 （微分積分、線形代数、コンピュータ基礎から出題）	100点	11：20～12：40（80分）
		面接		14：00～

(J) 判定方法

出願書類、筆記試験および面接により合否を判定します。

(K) 注意事項

2026年3月末時点で、以下のいずれかに該当する場合は、入学許可を取り消します。また、入学を許可された者が、入学までの期間に本学の入学予定者としてふさわしくない行動があった場合には、入学許可を取り消すことがあります。なお、出願書類および入学手続書類などに虚偽の記載および不正があった場合、入学を取り消します。

(1) 日本の大学に２年以上在学しなかった者または62単位以上修得しなかった者

【現代社会学部への出願者については、以下に該当する者】

日本の大学に１年以上在学しなかった者または 30 単位以上修得しなかった者

(2) 日本の短期大学を卒業しなかった者

(3) 日本の高等専門学校を卒業しなかった者

(4) 文部科学大臣の定める専修学校の専門課程を修了しなかった者

(5) 文部科学大臣の定める高等学校等の専攻科の課程を修了しなかった者

(L) 単位認定

(1) **経済学部（卒業要件単位124単位）**

専門教育科目　包括認定30単位
共通教育科目　包括認定32単位
→ 合計62単位認定 → 残り単位数は専門教育科目（選択必修・選択）42単位を含む62単位

(2) **経営学部（卒業要件単位124単位）**

専門教育科目　包括認定30単位
共通教育科目　包括認定32単位
→ 合計62単位認定 → 残り単位数は専門教育科目（選択必修・選択）42単位を含む62単位

(3) **法学部（卒業要件単位124単位）**

専門教育科目　包括認定30単位
共通教育科目　包括認定32単位
→ 合計62単位認定 → 残り単位数は専門教育科目（選択必修・選択）40単位を含む62単位

(4) **外国語学部（卒業要件単位124単位）**

専門教育科目　包括認定32単位
共通教育科目　包括認定30単位
→ 合計62単位認定 → 残り単位数は専門教育科目（必修・選択必修・選択）48単位を含む62単位

(5) **文化学部（卒業要件単位124単位）**

専門教育科目　包括認定30単位
共通教育科目　包括認定32単位
→ 合計62単位認定 → 残り単位数は専門教育科目（必修・選択必修・選択）50単位を含む62単位

(6) **現代社会学部、理学部、情報理工学部（卒業要件単位124単位）**

出願資格に定める大学等で修得した科目の内容と、現代社会学部、理学部、情報理工学部の履修規程等を照合したうえで、現代社会学部は44単位、理学部は62単位、情報理工学部の２年次編・転入学は44単位、情報理工学部の３年次編・転入学は62単位を上限として単位認定を行います。

(M) 合格発表

「合格発表」（P. 67）を確認してください。

(N) 入学手続

「入学手続」（P. 67）を確認してください。また、入学金・学費などについては、「入学金・学費など」（P. 70 ～ 71）を確認してください。

(O) 2025年度　入試結果統計

学部	学科（専攻）	志願者数	受験者数	合格者数
経済学部	経済学科	5	5	3
経営学部	マネジメント学科	8	8	2
法学部	法律学科	4	4	2
現代社会学部（２年次）	現代社会学科	1	1	0
外国語学部	アジア言語学科（韓国語専攻）	1	1	1
理学部	数理科学科	1	1	0
情報理工学部（３年次）	情報理工学科	1	1	1
合計		21	21	9

【注】記載のない学部・学科（専攻）については、出願がありませんでした。

出願方法

１．受験料（入学検定料）

⑴　**総合型選抜入試**

１次選考　15,000 円

２次選考　20,000 円

⑵　**専門学科等対象公募推薦入試、社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試［前期］［後期］、編・転入試**

35,000 円

【注】一旦納入された受験料は、いかなる理由があっても返還しません。

２．出願方法

インターネットでの出願に限ります。出願は以下①～③をもって出願完了となります。必ず出願期間内に①～③全ての手続きを済ませてください。出願期間を過ぎた場合は、一切受け付けません。

①　インターネット出願サイトで出願内容の入力・確認および出願写真データのアップロード

②　受験料（入学検定料）の納入

③　出願書類の郵送

【注】1. 志望情報や個人情報などの出願内容を十分に確認してください。登録された出願内容をもとに、受験票や合格通知書などの発行・発送を行います。

2. 氏名や住所など個人情報を入力する際、JIS 第１水準・第２水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の漢字（なければカタカナ）を入力してください。（例：髙→高、﨑→崎など）

なお、受験票および合格通知書、入学後の書類の表記は代替の漢字の対応となりますのでご了承ください。

3. 試験日が重なっていない場合、異なる入試制度間での併願は可能ですが、出願書類の流用はできません。

出願書類　写真データについて

・出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真（モノクロ・スナップ写真不可）

・受験生本人のみが映った上半身正面向き、脱帽、背景は無地のもの

・ファイル形式は、JPEG、10ＭＢ以内のもの

・出願写真は、出願サイト以外での加工・補正をしないでください。

・入学が許可された場合には、**この写真を学生証の写真などに使用します。**

可能な限り制服以外の写真にしてください。

[適切な写真例]

【不適切な写真例】次のような写真の場合は、再度提出を求めることがあります。

頭部がきれているもの

髪の毛が目にかかっているもの

照明などがメガネに反射しているもの

不鮮明や焦点が合っていないもの

プリントされた証明写真をスマートフォンのカメラで撮影している

※出願写真として適切ではないと判断された場合は、再提出になることがあります。出願期間内に再提出を行わない場合、出願は不成立となることがあります。

※一度受理された出願写真データは、変更することができません。

３．インターネット出願の流れ

京都産業大学のインターネット出願には、受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」の登録が必須です。

インターネット出願、受験ポータルサイト UCARO に関するお問い合わせ先

インターネット(Web)出願ヘルプデスク
UCAROお問い合わせ窓口

03-6634-6494

［受付期間・時間］10：00～18：00（12/30～1/3を除く）

出願締切後の出願内容に関するお問い合わせは、京都産業大学入学センター（075-705-1437）までお問い合わせください。

STEP 1.「UCARO（ウカロ）」にログインする

「UCARO Web サイト」へアクセスしてください。

https://www.ucaro.net

（UCARO 登録済の方）
ログイン・会員登録から、メールアドレス・パスワードを入力してください。

（UCARO 未登録の方）
ログイン・会員登録から画面下の新規登録でメールアドレスを入力し、送信されてきたメール内の URL から会員登録を行ってください。

※UCARO に登録したメールアドレス・パスワードは、入学手続まで必要となります。

STEP 2. 志望情報・個人情報の入力

〈志望情報〉

志望情報（出願する学部・学科（専攻）・学環）、出願要件などを選択してください。

〈個人情報〉

画面の指示に従い、各項目を入力してください。
なお、氏名等は「UCARO」で登録した個人情報が表示されます。
それ以外の項目を入力してください。

【注】 外国人留学生の方へ

インターネット出願で、個人情報を入力する際は次のことに注意してください。
①次の項目について、次のルールに則って入力してください。
なお、受験票などの入学までの書類は、カナ氏名で表記します。

氏名（漢字）	全角カタカナで入力してください。
氏名（カナ）	全角カタカナで入力してください。

②外国人留学生入試に出願する場合は、次の項目も入力してください。

パスポート氏名 （アルファベット）	パスポート表記を半角アルファベットで入力してください。また、「,（カンマ）」や「.（ピリオド）」が氏名に含まれていれば、それらも含めて入力してください。
日本国内で在籍または 卒業した学校名	日本語学校など日本国内で在籍している学校または卒業した学校がある場合のみ、学校名を入力してください。
成績利用を希望する回の 「日本留学試験」の受験番号	12桁の番号を入力してください。

〈出願内容の確認〉

入力した志望情報・個人情報項目を確認し、間違いがなければ、「次へ進む」ボタンを押してください。

STEP 3. 写真アップロード (写真の郵送は必要ありません)

［アップロード］ボタンより写真をアップロードしてください。

写真アップロードについて（出願写真データの詳細は、P.54 参照）

①出願写真アップロード画面にある「出願写真に関する注意事項」を読み、［ファイルを選択する］ボタンを押してパソコンやスマートフォンの端末に保存されている写真画像を選択してください。
選択後、［写真の加工に進む］ボタンを押してください。

②ドラッグによる画像位置の移動や、回転、拡大・縮小、明るさの調整などができます。画面の指示に従って操作し、［切り抜く］ボタンを押してください。

③最後に確認事項をよく読み、すべてにチェックを入れたら、［出願写真として提出する］ボタンを押してください。これで写真のアップロードは完了です。「次へ進む」ボタンを押してください。

STEP 4. 必要書類の確認

必要書類（郵送する出願書類）を確認しチェックボックスをチェックして、「次へ進む」ボタンを押してください。

STEP 5. 出願番号を控える・宛名ラベルを印刷する

○出願登録が完了すると出願番号（６桁）が発行されます。メモをするか画面を印刷してください。

○出願登録完了後、登録されたメールアドレスに出願内容が送信されますので、必ず内容を確認してください。また送信されたメールは必ず保存しておいてください。

○宛名ラベル印刷機能で、宛名を印刷することをおすすめします。（プリンタがない場合は、宛名などは手書きでかまいません（P.61 参照））

出願番号（６ケタ）を控えましょう！

STEP 6. 決済方法の選択

「決済方法を選択する」ボタンより、受験料（入学検定料）の支払い方法を選択してください。選択・入力ができたら、［決済サイトに進む］ボタンを押してください。

STEP 7. 受験料（入学検定料）の納入

（A）～（E）のいずれかの方法で納入してください。

詳しい納入方法については、インターネット出願画面の「受験料の納入方法」を参照してください。

●Ⓐ～Ⓓについて、受験料の他に、手数料（下記参照）が必要です。
●領収書は手元で大切に保管してください。（送付不要）
●一度納入された受験料および手数料は、いかなる理由があっても返還しません。
●納入方法や手順は、変更されることがあります。

各種番号メモ用

（A）コンビニエンスストア 現金支払

セブンイレブン（店頭レジ）
- レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【振込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えお支払ください。
- マルチコピー機は使用しません。

ローソン LAWSON ミニストップ（Loppiへ）
- 「各種サービスメニュー」を選択
- 「各種代金・インターネット受付・スマートピットのお支払」を選択
- 「各種代金お支払い」を選択
- 「マルチペイメントサービス」を選択
- **お客様番号、確認番号を入力**
- 端末から出力された申込券を持って、レジでお支払いください。

ファミリーマート FamilyMart（マルチコピー機）
- 「代金支払い」を選択
- 「番号入力」を選択
- お客様番号、確認番号を入力
- 端末から出力された申込券を持って、レジでお支払いください。

デイリーヤマザキ
- レジで「オンライン決済」と伝えてください。
- レジ画面でオンライン決済番号を入力
- 内容確認後、レジでお支払いください。

セイコーマート
- レジにて「インターネットの支払」と店員に伝えてください。
- レジ操作画面でオンライン決済番号を入力
- 内容確認後、レジでお支払いください。

●Ⓐについて、コンビニエンスストアでは、現金で納入してください。

（B）金融機関 ATM（Pay-easy）

現金支払 キャッシュカード

ゆうちょ銀行・Pay-easy対応ATMを利用
- 「税金・料金払込み」を選択
- 収納機関番号に【58021】と入力
- お客様番号、確認番号を入力
- 支払方法（現金またはキャッシュカード）を選択し、受験料をお支払いください

（C）ネットバンキング

口座引落（Pay-easy・インターネット専業銀行）

ネットバンキング（Pay-easy・ネット専用銀行）を利用
- インターネット出願画面から、「ネットバンキングでの納入に進む」を選択
- 「ネットバンキング（Pay-easy）」または「楽天銀行、ジャパンネット銀行、住信 SBI ネット銀行、じぶん銀行」を選択しログイン
- 支払い方法を確認し、受験料をお支払いください

（D）クレジットカード

※支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。ただし、「個人情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。
- インターネット出願の「決済情報入力」画面の支払方法で「クレジットカード」を選択
- 同一画面でカード情報を入力し「出願登録を完了する」をクリックする
- ダイアログが表示されるので「確定する」をクリックする
- 支払い完了です
  【注】出願番号を控えておいてください

〈参考：手数料〉

入学検定料	手数料
5 万円未満	1,100 円
5 万円～ 10 万円未満	1,500 円
10 万円～ 15 万円未満	1,800 円
15 万円～ 20 万円未満	2,100 円
20 万円以上	2,600 円

●Ⓑについて、コンビニエンスストア設置のATMは利用いただけません。

（E）海外送金

・インターネット出願登録完了後、日本の銀行手数料を加算して次の指定銀行口座に日本円で送金してください。不足があれば受理できません。
・銀行手数料や送金に必要となる日数などは、事前に銀行で確認してください。送金小切手での送金は、取扱いできません。
・送金後直ちに、払込受領書の写真を、出願番号と氏名を明記のうえ入学センター（info-adm@star.kyoto-su.ac.jp）宛にメールで送信してください。メールの件名は「受験料の海外送金の連絡（出願番号・氏名）」としてください。

【指定銀行口座】

振込先銀行・支店	SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION.KYOTO BRANCH
SWIFT code / BIC code	SMBCJPJT（8桁）/ SMBCJPJTXXX（11桁）
振込先銀行住所	8,Naginatabokocho,Shimogyo-ku,Kyoto 600-8008,JAPAN
口座番号	ACCOUNT NO.9827085
口座名義	KYOTO SANGYO UNIVERSITY
大学住所・電話番号	Motoyama,Kamigamo,Kita-ku,Kyoto 603-8555,JAPAN（TEL. +81-75-705-1415）

STEP 8. 出願書類の郵送（簡易書留・速達）

●郵送前に、出願書類に不足がないかを必ず確認してください。

●出願書類を送付する市販の封筒を用意し、宛名ラベルを封筒表面に貼付してください。宛名ラベルが印刷できない場合は、下記宛先を手書きし、封筒裏面に入試制度･出願番号･郵便番号･住所･氏名（漢字･カナ）を記入してください。

●各入試制度の出願期間内に、簡易書留・速達で郵送してください（当日消印有効、海外からの出願の場合は締切日必着）。

(送付先)〒539-8691　日本郵便 新大阪郵便局留
京都産業大学入学センター インターネット出願係 行

●海外から送付する場合は、EMS などの国際郵便での郵送となるため、「宛名ラベル」は使用できません。次の住所を記入し、郵送してください（海外からの出願の場合は締切日必着）。

Motoyama, kamigamo, kita-ku, Kyoto　603-8555, JAPAN
KYOTO SANGYO UNIVERSITY CENTER FOR ADMISSIONS

STEP 9. 出願完了

以上で出願は完了です。受験票は、後日 UCARO にて掲出します。出願内容を確認のうえ、受験票を印刷し、試験当日に持参してください（P. 64）。

4．出願後の登録情報確認・変更

インターネット出願画面からログインし、出願一覧の「確認・変更・決済」ボタンより出願登録内容の確認ができます。

『宛名ラベルの印刷』『コンビニエンスストアで支払時に必要な番号の確認』などに利用できます。また､受験料（入学検定料）納入前であれば､「志望情報」「個人情報」「決済方法」の変更が可能です。

５．よくある質問　Ｑ＆Ａ

⑴　インターネット出願の端末について

Q.　スマートフォン（タブレット）で出願できますか？

A.　スマートフォン（タブレット）からも出願できます。出願する際は次の事項に注意してください。

①スマートフォン（タブレット）の使用可能端末（ブラウザ）

・Android OS 12以上　・iOS 15以上

②前項の使用可能端末であっても、画面が正常に表示されない場合があります。

③スマートフォン（タブレット）では、印刷機能が使用できない、または正常に印刷できない場合がありますので、必要事項は記録しておいてください。

④JavaScriptの使用が無効に設定されている場合は、一時的に有効に設定を変更してください。

⑤クッキー（Cookie）の使用が無効に設定されている場合は、一時的に有効に設定を変更してください。

【注】1. 出願が完了したら、上記の対応で変更した設定をもとの状態に戻してください。

2. 各スマートフォンの設定方法については、スマートフォンのマニュアルを確認するか、スマートフォンのキャリア（docomo、au、SoftBankなど）のサポートセンターに問い合わせてください。

Q.　自宅にインターネットを利用できるパソコン、スマートフォンやプリンタなどがない場合は、どうすればよいですか？

A.　パソコン、スマートフォンやプリンタはご自宅以外のものを使用していただいて構いません。

なお、その際でも個人情報欄のメールアドレスは携帯電話など個人所有のメールアドレスを設定してください。

コンビニエンスストアにおいて、スマートフォンのアプリやUSBメモリーなどからPDFを印刷できるサービスもあります。次のWebページを参考にしてください。

●セブンイレブン　https://www.sej.co.jp/services/multicopy/print.html

●ローソン　https://www.lawson.co.jp/sp/service/others/multicopy/

●ファミリーマート　https://www.family.co.jp/services/print/print.html

Q.　ポップアップブロックがかかり画面が表示されません。

A.　ポップアップがブロックされ、ポップアップ画面が表示されない場合があります。Webサイトのポップアップを常に許可するようブラウザの設定を変更してください。

⑵　出願内容・個人情報について

Q.　異なる入試制度間での併願は、可能ですか。

A.　入学試験日が重なっていなければ、併願可能です。

Q.　氏名や住所の漢字が入力の際にエラーになってしまいますがどうすればいいですか？

A.　氏名や住所などの個人情報を入力する際に、外字（旧字体、異体字、俗字体等）などの漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字（JIS第1水準およびJIS第2水準）またはカタカナで入力してください。（例:髙→高、﨑→崎など）

なお、受験票および合格通知書、入学後の書類の表記は代替の漢字の対応となりますのでご了承ください。

Q.　出願内容・個人情報の入力後に入力内容の誤りに気付きました。変更できますか？

A.　受験料（入学検定料）納入前であれば、インターネット出願画面からログインし、出願一覧の「確認・変更・決済」ボタンより出願内容の変更が可能です。

受験料（入学検定料）納入後の変更については、京都産業大学入学センター（TEL.075-705-1437）まで連絡してください。

Q.　出願番号を忘れましたがどうすればいいですか？

A.　出願完了メールまたはインターネット出願画面からログインし、出願一覧で確認してください。もしわからない場合は、インターネット（Web）出願ヘルプデスク（TEL.03-6634-6494）まで連絡してください。なお、出願番号は、必ず控えておいてください。

Q.　メールアドレスの登録は、携帯電話のメールアドレスでも可能ですか?

A.　可能です。ただし、登録されたメールアドレスは、出願登録完了の通知や入金完了の通知が送信されますのでドメイン（@webshutsugan.com）を受信指定してください。

⑶　出願書類について

Q.　出願書類に誤りがなかったか心配です。誤りがあった場合、どうなるのでしょうか？

A.　提出前にしっかり確認してください。万一、出願書類に漏れや誤りがあった場合は、本学出願受付係から本人へ確認の連絡をします。

Q.　出願書類を郵送する封筒に指定はありますか？ また、「宛名ラベル」の印刷は必要ですか？

A.　市販の封筒（封筒の種類に指定はありません）を使用してください。「宛名ラベル」の印刷など、それぞれの留意事項は「STEP8.出願書類の郵送（P. 61）」を確認してください。

Q.　出願書類を他の入試制度へ流用はできますか。

A.　写真データや調査書などの出願書類の流用はできません。

⑷　受験料（入学検定料）について

Q.　受験料（入学検定料）を支払った際の領収書は、送付する必要がありますか？

A.　必要ありません。手元で大切に保管してください。
ただし、海外送金の場合は領収書の写真を送信してください。詳しくは「�E海外送金（P. 60）」を確認してください。

６．障害等のある方への受験上の配慮

⑴　受験配慮

障害があるなどの理由により、通常の受験が困難な方や、日常生活において補聴器、車椅子などを使用している方は、事前の申請が必要です。本学の「入試情報サイト」内から「受験等に際して障害等のある方への配慮について」を確認し、出願する前に入学センターまで問い合わせた上で、申請してください。

また、出願後の不慮の事故等による負傷などにより、受験時に配慮を希望する場合は、速やかに入学センターまで問い合わせてください。

申請に基づき受験上の配慮内容を決定し、「受験配慮決定通知書」にて通知・郵送します。

URL　https://www.kyoto-su.ac.jp/wr-admissions/exam/pickup/consideration_exam/index.html

問い合わせ先　入学センター
TEL.075－705－1437
E-mail：info-adm@star.kyoto-su.ac.jp

⑵　修学相談

入学後の修学において合理的配慮を必要とする可能性がある方は、出願する前に障害学生教育支援センターに問い合わせてください。

問い合わせ後、障害学生教育支援センターや志願する学部等と調整するとともに、必要に応じて入学後の修学や合理的配慮について情報提供等を行います。

また、次の Web ページの内容も併せてご確認ください。

URL　https://www.kyoto-su.ac.jp/support/os_support/

問い合わせ先　障害学生教育支援センター
TEL.075－705－1981
E-mail：shogai-support@star.kyoto-su.ac.jp

受験票

受験票はUCAROよりご自身で、A4サイズ（縦向き）に印刷し、試験当日に持参してください。
本学より受験票の送付はしません。

１．受験票・受験番号の公開日

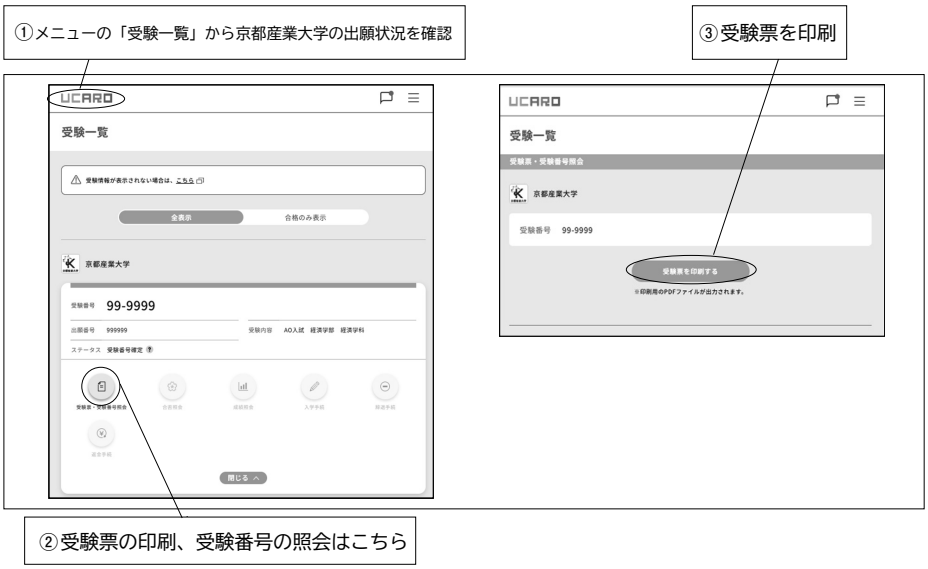
入試制度		受験票公開（印刷可能）日
総合型選抜入試	1次選考	2025年９月12日(金)12時～
	2次選考	2025年10月10日(金)12時～
社会人入試		2025年10月10日(金)12時～
帰国生徒入試		
編・転入試		
外国人留学生入試[前期]		
専門学科等対象公募推薦入試		2025年11月17日(月)12時～
外国人留学生入試[後期]		2025年12月25日(木)12時～

２．受験票の内容確認および印刷方法について

①UCAROにログインし、メニューの「受験一覧」を選択する。
②該当の試験の右隣りの ﹀ をクリックし、「受験票・受験番号照会」をクリック、「受験票を印刷する」より画面の案内に従って受験票を印刷する。
③受験票の内容を確認する。

注意事項

・受験票は必ずＡ４サイズ（縦向き・原寸大）の白紙に印刷してください（カラー・白黒は問いません）。
・自宅にプリンタがない場合はコンビニエンスストア等を利用し、印刷してください。
・試験当日、スマートフォン等で受験票の画面を表示しても受験はできません。必ず印刷した受験票を持参してください。



受験票の確認方法が分からない場合などは、UCAROお問い合わせ窓口（03-6634-6494）に問い合わせてください。

受験

1．受験に関する注意

⑴　受験に関する注意

・受験票を確認して、試験開始30分前までに各自指定された試験室に入室してください。
・筆記試験については開始後30分以上遅刻した者は、受験を許可しません。また、終了時刻まで退室できません。
・面接（プレゼンテーション、グループディスカッション、グループワーク含む）については、開始時刻に遅刻した者は、受験を許可しません。
・受験票は必ずUCAROにて各自で印刷を行い、試験当日に持参し、受験番号順に定められた席に着き、受験票を机の上の受験番号票の手前に置いてください。（自分の受験番号と異なる席に着いた場合は、受験が無効となる場合があります。）
・受験票のほかに試験中に机の上に置けるものは、ＨＢの黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（試験の妨げとなるような置時計は不可）です。これ以外の所持品を置いてはいけません。
・定規、コンパス、ソロバン、計算機（電卓など）および計算・辞書機能などの付いた時計などの使用はできません。また、「携帯電話」「スマートフォン」「ウェアラブル端末」「電子辞書」「ＩＣレコーダー」などの電子機器は入室前に電源を切り、かばんにしまってください。時計はアラーム機能を解除しておいてください。
　なお、試験室には時計を設置していません。
・英文字や漢字などがプリントされている服などは着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。（ロゴマーク、ワンポイントの柄程度は可）
・耳せんは、監督者の指示などが聞き取れないことがありますので使用できません。
・配付した問題用紙および解答用紙などは、一切持ち帰ることはできません。
・不正行為者には退室を命じ、受験を無効とします。
・その他、試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。

⑵　試験実施に際しての対応

　本学では、試験の実施に際して、公平で良好な受験環境を提供できるよう努めていますが、やむを得ず以下のような対応をとる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

①　地震、大雪、洪水などの自然災害、火災、停電、公共交通機関の遅延、その他本学の責によらない不可抗力による事故などが発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ、試験会場の変更などの措置をとることがあります。
　なお、これによって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
②　試験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備など）の違いなどは一切考慮しません。
③　試験時間中に日常的な生活騒音等（航空機・自動車・風雨の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、空調や換気扇など試験会場となる施設・設備が通常発する音や、周囲の建物のチャイム音、歓声、動物の鳴き声、廃品回収や物売り類およびイベントのアナウンス・工事の音など）が発生した場合でも特別な対応はとりません。
④　試験中に、監督者が試験実施上必要な指示、説明、巡回を行うことによって生じる音などに対して、特別な対応はとりません。
⑤　試験中に万一、携帯電話（スマートフォン）や時計などの音や振動などが発生し、発生源となるかばんなどが特定できた場合は、持ち主の同意なしに監督者が試験室の外に持ち出し、入学試験実施本部（受験生案内所）にて保管することがあります。
⑥　他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、受験の中止あるいは別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

⑶　不正行為

　以下に該当する場合、不正行為となります。不正行為となった場合は、その場で試験の中止と退場を命じ、それ以降の受験はできません。
　なお、すでに受験した当該年度の本学の入学試験も全て無効とします。また、これらを含めて受験料は一切返還しません。

・カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案を見る行為、他人から答えを教わる行為など）をすること。
・使用を禁じられた用具を使用する行為。
・試験開始の合図（「試験開始です。始めてください。」）の前に、問題冊子を開く行為や解答を始める行為。
・解答終了の合図（「試験終了です。筆記用具を置いてください。」）の後に、筆記用具を持つ行為や解答を続ける行為。
・試験中に、他の受験者を利するような行為。

２．感染症等にかかった場合の受験について

⑴　2026年度入試について、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症にかかっているなどの場合、他の受験生や監督者への感染防止のため、入学試験は受験いただけません。

⑵　⑴により入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）の受験料を返還します。次の要領で手続きを行ってください。

【受験料返還の対象者】

・学校安全保健法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・新型コロナウイルス・はしかなど）にかかり、入学試験を欠席した出願者

【受験料返還の申請方法】

Ⓐ　次の日時に電話をしてください。

受付日　　欠席する試験当日まで
受付時間　9：00 ～ 15：00
TEL.　　075－705－1437（入学センター）

【注】申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱います。
（受験料の返還はしません。）

Ⓑ　次の申請書類を提出してください。

・受験料返還申請書［本学指定様式］…電話による申請受付後に本学より発送します。
・診断書…病名、加療期間（欠席した試験日が含まれていること）

３．不測の事態への対応

本学が、不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表などを実施することが困難であると判断した場合は、試験日の延期もしくは選考方法の変更、試験中止等の対応措置を取ることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について、本学は責任を負いません。

なお、不測の事態が発生した際の対応措置は次のとおりとし、入試情報サイトおよびUCAROメッセージにて告知します。

【選考方法を変更する場合】

・選考方法を変更する場合、入試情報サイトおよびUCAROにて告知します。

【試験を延期する場合】

・集合時間、時間割および試験会場は入試情報サイトおよびUCAROを通して改めて通知します。
・変更後の試験日を記載した受験票の発行は行いません。変更前の試験日の受験票を試験当日に持参してください。
・やむを得ない理由で受験ができない場合は、原則受験料を返還します。
・受験ができない場合は、次の日時までに電話してください。連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として扱います。（受験料は返還しません。）

連絡期日：繰り下げ後試験日の４日前の13：00まで
ＴＥＬ：075-705-1437（入学センター）

また、事前に延期日を設定している入試制度および日程は、次のとおりです。

<table>
<tr><th rowspan="2">入試制度</th><th colspan="2">当初</th><th rowspan="4">➡</th><th colspan="2">繰り下げ後</th></tr>
<tr><th>試験日</th><th>合格発表日</th><th>試験日</th><th>合格発表日</th></tr>
<tr><td>総合型選抜入試（１次選考）</td><td>2025年
9月21日（日）</td><td>2025年
9月26日（金）</td><td>2025年
9月28日（日）</td><td>2025年
10月3日（金）※</td></tr>
<tr><td>総合型選抜入試（２次選考）</td><td>2025年
10月19日（日）</td><td rowspan="3">2025年
11月1日（土）</td><td>2025年
10月26日（日）</td><td rowspan="3">2025年
11月1日（土）</td></tr>
<tr><td>社会人入試
帰国生徒入試
外国人留学生入試［前期］
編・転入試</td><td>2025年
10月18日（土）</td><td>2025年
10月25日（土）</td></tr>
</table>

※繰り下げに伴い、２次選考の出願期間に変更が生じる場合があります。その場合、改めて通知します。

【試験を中止する場合】

・受験料を返還します。
・インターネット出願で登録された住所宛に、「受験料返還申請書」を送付します。同封している案内文を確認し、期日までに申請書を提出してください。

合格発表

1．合格発表

(1) **合格発表日の10:00から、UCAROで合否を照会することができます。**
なお、不合格通知書は、発送しませんのでご了承ください。

(2) 合格者には、「合格通知書」を、合格発表日に本人宛てに発送します。
※合格発表日に発送するため、到着は翌日以降になります。

(3) 合否についての電話、メール、郵便などによる問い合わせには一切応じません。

2．高等学校への合否結果通知

(1) **総合型選抜入試、専門学科等対象公募推薦入試、社会人入試、帰国生徒入試**
当該入試制度において、本学では出願に必要な書類を出身学校より提出いただいていることから、合格発表後、出身学校長宛てに「出願学部等」「氏名」「合否結果」を、全入試終了後に「入学状況」を通知します。あらかじめ了承のうえ出願してください。

(2) **編・転入試、外国人留学生入試［前期］［後期］**
当該入試制度において、本学では合格発表後、出身学校長宛てに合否結果、入学状況の通知は行いません。

入学手続

２段階（第１次および第２次）の入学手続の完了をもって入学を許可します。それぞれ所定の期日までに、入学手続を完了してください。入学手続の詳細については、UCAROにて合格者向けに掲載する「入学手続要領」（※）を参照してください。

なお、期日経過後の手続は、いかなる理由があっても認めませんので注意してください。

<table>
<tr><th rowspan="3">入試制度</th><th colspan="2">入学手続期間</th></tr>
<tr><th>第１次手続</th><th>第２次手続</th></tr>
<tr><th>入学申込金
（入学金）の納入</th><th>①学費など＜春学期分＞の納入
②インターネット入学手続（UCAROへの情報入力）</th></tr>
<tr><td>外国人留学生入試［前期］</td><td rowspan="5">2025年11月1日(土)
～11月11日(火)</td><td>2025年11月1日(土)
～2026年1月23日(金)</td></tr>
<tr><td>総合型選抜入試</td><td rowspan="4">2025年11月1日(土)
～2026年2月18日(水)</td></tr>
<tr><td>社会人入試</td></tr>
<tr><td>帰国生徒入試</td></tr>
<tr><td>編・転入試</td></tr>
<tr><td>専門学科等対象公募推薦入試</td><td>2025年12月5日(金)
～12月17日(水)</td><td>2025年12月5日(金)
～2026年2月18日(水)</td></tr>
<tr><td>外国人留学生入試［後期］</td><td colspan="2">2026年1月16日(金)～1月23日(金)</td></tr>
</table>

【注】1. 一旦納入された入学金は、いかなる理由があっても返還しません。
2. 学費などを納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、2026年３月31日（火）までに入学辞退の手続を行ってください。所定の手続を期日までに行った場合に限り、入学金を除く学費などを返還します。
詳しくは、UCAROにて合格者向けに掲載する「入学手続要領」を参照してください。
なお、期日経過後の手続は、いかなる理由があっても認めませんのでご注意ください。

※「入学手続要領」について
入学手続に関する詳細は、「入学手続要領」で必ず確認してください。
「入学手続要領」は合格者にのみUCAROにて掲載します。
冊子等紙媒体での発送はありませんので注意してください。

入学金・学費など

〈学費について〉

2026年度入学生の学費は、以下のとおりです。
納入手続方法については、UCAROにて合格者向けに掲載する入学手続要領で確認してください。
本学では、入学年度の納入金（入学金+学費など）の負担を軽減するため、学費などのうち、1年次の教育充実費を低額としています。

1．1年次入学

■　経済学部、経営学部、法学部

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	397,500	397,500	795,000	797,000	797,000	797,000
	教育充実費	64,000	64,000	128,000	315,000	315,000	315,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		707,750	464,750	1,172,500	1,118,500	1,118,500	1,128,500

■　現代社会学部

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	412,000	412,000	824,000	827,000	827,000	827,000
	教育充実費	81,000	81,000	162,000	357,000	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		739,250	496,250	1,235,500	1,190,500	1,190,500	1,200,500

■　国際関係学部

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	462,000	462,000	924,000	927,000	927,000	927,000
	教育充実費	81,000	81,000	162,000	357,000	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		789,250	546,250	1,335,500	1,290,500	1,290,500	1,300,500

■　外国語学部、文化学部

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	427,000	427,000	854,000	857,000	857,000	857,000
	教育充実費	81,000	81,000	162,000	357,000	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		754,250	511,250	1,265,500	1,220,500	1,220,500	1,230,500

■　理学部（数理科学科）

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	527,500	527,500	1,055,000	1,060,000	1,060,000	1,060,000
	実験実習費	33,500	33,500	67,000	68,000	68,000	68,000
	教育充実費	81,000	81,000	162,000	357,000	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		888,250	645,250	1,533,500	1,491,500	1,491,500	1,501,500

■　理学部（物理科学科、宇宙物理・気象学科）、情報理工学部、生命科学部（産業生命科学科）

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	529,000	529,000	1,058,000	1,059,000	1,059,000	1,059,000
	実験実習費	62,000	62,000	124,000	126,000	126,000	126,000
	教育充実費	86,000	86,000	172,000	367,000	367,000	367,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		923,250	680,250	1,603,500	1,558,500	1,558,500	1,568,500

■　生命科学部（先端生命科学科）

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	550,000	550,000	1,100,000	1,110,000	1,110,000	1,110,000
	実験実習費	75,000	75,000	150,000	150,000	150,000	150,000
	教育充実費	100,000	100,000	200,000	390,000	390,000	390,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		971,250	728,250	1,699,500	1,656,500	1,656,500	1,666,500

■　アントレプレナーシップ学環

（単位：円）

		1年次			2年次	3年次	4年次
		春学期（入学手続時）	秋学期	合　計	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）	（春学期・秋学期）
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—	—
学費	授業料	427,000	427,000	854,000	857,000	857,000	857,000
	教育充実費	81,000	81,000	162,000	357,000	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	—	10,000
合　計		754,250	511,250	1,265,500	1,220,500	1,220,500	1,230,500

【注】
1．入学金については、入学年度のみ徴収します。
2．学費などは、春学期分・秋学期分の２期に分割して徴収します。
3．教育後援費については、入学年度は6,000円（年額）を、次年度以降は4,000円（年額）を徴収します。
4．学生健康保険互助会費については、入学年度は3,500円（年額）を、次年度以降は2,500円（年額）を代理徴収します。
5．同窓会終身会費予納金20,000円のうち、10,000円を入学年度に代理徴収し、残り10,000円は４年次学費納入時に代理徴収します。
6．法学部は、入学金・学費など以外に法学会費として、入学年度のみ14,000円が別途必要になります。
7．文化学部の３学科共通の英語特別コースでは、長期留学を卒業要件としていますので、入学金・学費など以外に留学費用（90万～160万程度）が別途必要になります。なお、留学費用は前年度の実績で、毎年度為替レートにより変動します。
8．学部・学環が指定したノート型パソコンを１人１台持つことを前提に授業などを行いますので、入学金・学費など以外にノート型パソコン購入費用が別途必要になります。

2．編・転入学

■　経済学部、経営学部、法学部（3年次入学）

（単位：円）

		3年次			4年次（春学期・秋学期）
		春学期（編・転入学手続時）	秋学期	合　計	
入　学　金		230,000	—	230,000	—
学費	授業料	373,500	373,500	747,000	747,000
	教育充実費	157,500	157,500	315,000	315,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	10,000
合　計		777,250	534,250	1,311,500	1,078,500

■　外国語学部、文化学部（3年次入学）

（単位：円）

		3年次			4年次（春学期・秋学期）
		春学期（編・転入学手続時）	秋学期	合　計	
入　学　金		230,000	—	230,000	—
学費	授業料	403,500	403,500	807,000	807,000
	教育充実費	178,500	178,500	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	10,000
合　計		828,250	585,250	1,413,500	1,180,500

■　理学部（数理科学科）（3年次入学）

（単位：円）

		3年次			4年次（春学期・秋学期）
		春学期（編・転入学手続時）	秋学期	合　計	
入　学　金		230,000	—	230,000	—
学費	授業料	505,000	505,000	1,010,000	1,010,000
	実験実習費	34,000	34,000	68,000	68,000
	教育充実費	178,500	178,500	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	10,000
合　計		963,750	720,750	1,684,500	1,451,500

■　理学部（物理科学科）、情報理工学部（3年次入学）

（単位：円）

		3年次			4年次（春学期・秋学期）
		春学期（編・転入学手続時）	秋学期	合　計	
入　学　金		230,000	—	230,000	—
学費	授業料	504,500	504,500	1,009,000	1,009,000
	実験実習費	63,000	63,000	126,000	126,000
	教育充実費	183,500	183,500	367,000	367,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	10,000
合　計		997,250	754,250	1,751,500	1,518,500

■　現代社会学部（２年次入学）

（単位：円）

		２年次			３年次（春学期・秋学期）	４年次（春学期・秋学期）
		春学期（編・転入学手続時）	秋学期	合　計		
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—
学費	授業料	413,500	413,500	827,000	827,000	827,000
	教育充実費	178,500	178,500	357,000	357,000	357,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	10,000
合　計		838,250	595,250	1,433,500	1,190,500	1,200,500

■　情報理工学部（２年次入学）

（単位：円）

		２年次			３年次（春学期・秋学期）	４年次（春学期・秋学期）
		春学期（編・転入学手続時）	秋学期	合　計		
入　学　金		230,000	—	230,000	—	—
学費	授業料	529,500	529,500	1,059,000	1,059,000	1,059,000
	実験実習費	63,000	63,000	126,000	126,000	126,000
	教育充実費	183,500	183,500	367,000	367,000	367,000
教育後援費		4,000	2,000	6,000	4,000	4,000
学生健康保険互助会費		2,250	1,250	3,500	2,500	2,500
同窓会終身会費予納金		10,000	—	10,000	—	10,000
合　計		1,022,250	779,250	1,801,500	1,558,500	1,568,500

【注】
1. 入学金については、入学年度のみ徴収します。
2. 学費などは、春学期分・秋学期分の2期に分割して徴収します。
3. 教育後援費については、入学年度は6,000円（年額）を、次年度以降は4,000円（年額）を徴収します。
4. 学生健康保険互助会費については、入学年度は3,500円（年額）を、次年度以降は2,500円（年額）を代理徴収します。
5. 同窓会終身会費予納金20,000円のうち、10,000円を入学年度に代理徴収し、残り10,000円は４年次学費納入時に代理徴収します。
6. 法学部は、入学金・学費など以外に法学会費として、入学年度のみ7,000円が別途必要になります。
7. 文化学部京都文化学科英語コミュニケーションコースは、長期留学を卒業要件としていますので、入学金・学費など以外に留学費用（90 万～ 160 万円程度）が別途必要になります。
   なお、留学費用は前年度の実績で、毎年度為替レートにより変動します。
8. 学部が指定したノート型パソコンを１人１台持つことを前提に授業などを行いますので、入学金・学費など以外にノート型パソコン購入費用が別途必要になります。

３．京都産業大学提携教育ローン

「提携教育ローン」とは、京都産業大学と金融機関が提携契約を締結することにより、融資利率が優遇されるなど、有利な条件で融資を受けることができる制度です。

提携金融機関は、三井住友銀行、セディナ（三井住友カード）、ジャックス、オリコ、滋賀銀行です。

なお、制度の詳細につきましては、下記問い合わせ先まで大学名をお申し出のうえ、直接問い合わせていただくか、本学Webサイトを確認してください。

【注】入学前に日本学生支援機構等の奨学金を借りることはできません。事前に必要な入学金・学費については教育ローンにて融資を受けることができます。審査などの手続きに５日間～３週間程度かかりますので、納入期間を十分に確認のうえ、検討してください。

URL https://www.kyoto-su.ac.jp/about/shien/kyouiku.html

問い合わせ先 ：	三井住友銀行京都支店	TEL. 075－211－4133
	三井住友カードカスタマーセンター	TEL. 050－3827 －0375（Web 申込可）
	ジャックス・コンシュマーデスク	TEL. 0120－338－817（Web 申込可）
	オリコ学費サポートデスク	TEL. 0120－517－325（Web 申込可）
	滋賀銀行クレジットセンター	TEL. 0120－889－201（Web 申込可）

４．高等教育修学支援新制度について

高等教育修学支援新制度（高等教育無償化）について、京都産業大学は支援措置の対象校です。「高等教育修学支援新制度」とは、住民税非課税世帯または準ずる世帯、理工農系の中間世帯、さらには多子世帯（３人以上）については所得制限なしで、授業料と入学金の一部を減免する制度です。高等学校等で予約採用の手続きをとり、採用候補者決定通知をお持ちの方の入学手続き（入学金・学費等）については、決定次第、入試情報サイトでご案内予定です。

５．寄付金のお願い

本学では学校法人京都産業大学の教育・研究の充実および施設・設備の整備のため、京都産業大学教育振興資金の募集を行っております。寄付金のお申込みは任意であり、入学前には募集しておりません。詳細につきましては、入学後、あらためてご案内いたしますので、何卒ご協力の程お願い申しあげます。

京都産業大学の個人情報の取り扱い

以下の「京都産業大学の個人情報の取り扱い」を必ずお読みいただき、内容を確認・同意のうえ、インターネット出願の流れに沿って出願してください。出願完了後は、以下の内容に同意いただいたものとします。

本学では、住所、氏名、電話番号などの個人情報は、本法人のプライバシーポリシーに基づいて厳重に管理します。

これらの個人情報は、入学者の選抜および受験票、合格通知、合格者・入学手続者への各種案内、本学が行う受験に関するアンケートの発送に利用します。また、統計資料の作成のため、個人を特定しない形で利用することがあります。

発送などの処理を大学から委託した業者（以下、「受託業者」といいます）が行うことがあります。業務委託にあたっては、受託業者に対して、個人情報の全部または一部を提供しますが、その受託業者についても、本学と同様の安全管理措置を徹底します。

また、①「京都産業大学同窓会」、②「京都産業大学法学会」（法学部のみ）、③「株式会社サギタリウス企画」（本学100％出資会社）には、機関誌発送など各種の案内の目的に限定して、氏名、住所の情報を提供することがあります。これら①から③の機関への情報提供を希望されない場合は、下記の〈個人情報に関するお問い合わせ先〉まで連絡してください。

〈個人情報に関するお問い合わせ先〉

京都産業大学　総務部（総務担当）　TEL.075-705-1408

むすんで、うみだす。

京都産業大学 入学センター

〒603-8555　京都市北区上賀茂本山　TEL. 075-705-1437　FAX. 075-705-1438
E-mail：info-adm@star.kyoto-su.ac.jp　https://www.kyoto-su.ac.jp/admissions